京城日報
八日夕刊
定價 本紙 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 [illegible]

時間表 [illegible]

○ボナー、ロー氏の辭退

ボナー、ロー氏は自ら首相の任を盡すに適せずと爲し内閣組織を辭退したり陸相ロイド、ジョージ氏代つて皇帝の召命を蒙るべしと期待せらる(倫敦電報)

○聯合内閣の組織か

倫敦來電=ボナー、ロー氏宮中退出後ロイド、ジョージ氏御召を蒙り次でアスキス、バルフオア、ボナー、ローの諸氏及び其他政界の領袖を召されたり新内閣も亦從前通り聯合内閣たらしむるの意ならん(紐育電報)

○ロイド、ジョージ氏に大命

倫敦來電=英國皇帝はロイド、ジョージ氏に内閣組織の大命を下し給へり同氏は大命を拜受せるが如し(紐育電報)

○新内閣組織成る

ロイド、ジョージ氏はボナー、ロー氏の協力を得て新内閣を組織せり(倫敦電報)

○總統特派中止を約す
民黨議員の曹氏派遣反對

民黨議員九十餘名は六日二組に分れ黎總統を訪問し曹特使派遣の中止を申込みたるに總統は一組に對しては段總理と協議の上何分の處置に出づべしと返答せり第二組の過激派は若し議員等の警告を無視し曹氏を特使として出發せしむるが如き事あらば如何なる非常手段に訴ふるやも計り難しと聲言したるを以て總統も已むを得ず中止する旨を約せり(北京特電)

○露極東總督の歸國

露國極東總督ゴンダッチ氏は今回中央政府の召電に依り六日任地ハバロスク市を出發ペトログラードに向へり風說に依れば氏は近く農務大臣に推擧せらるべしと氏は露國宮廷に勢力を有する貴族の出身にして露都帝國大學博物科卒業後黒龍州總督の下級屬僚より身を起し遂に今日の地位を得たる人なり(長春特電)

○羅國首府陷落
但し獨軍の公報

伯林來電=獨軍公報に曰く、獨軍は羅國首府ブカレスト及びプロエスチを占領し俘虜一萬六千を獲たり(紐育電報)

○内務總長推薦

段總理は内務總長候補者として張國淦氏を推薦し目下交渉中なり(北京電報)

○内閣會議召集

今八日午前十時半より内閣會議を召集し内外政務に關し協議する所ありたり(東京電報)

○椿事と後藤總裁

後藤鐵道院總裁は東北線汽車椿事の責を負ひ進退伺を提出す可し(東京電報)

○德島補缺決定

德島縣下院議員補缺選擧候補者中左の二名は既に決定せり
▲松島肇 ▲秋田清

○總督下關滯在
神田秘書官の談

長谷川朝鮮總督は高橋武官、齋藤、大島兩副官神田秘書官を随へ七日午後八時二十四分郷里岩國より下關著親戚其他多數の出迎を受け憲兵警官の嚴重なる警戒の下に山陽ホテルに入れり八日午前は小倉に赴き同夜春帆樓に同市諸官衙の長及び親戚を招待し九日午前下關發關釜聯絡船にて渡鮮の豫定なり神田秘書官の談に依れば長谷川總督は朝鮮統治に當りては獻身的努力を爲すべき決心にて公務以外には決して歸國せず此の事に就ては來春早々管内の巡視を爲し終りて六、七月頃一度内地へ歸る豫定なりと(門司特電)

○東宮參陵

皇太子殿下には立太子禮御終了に付伊勢神宮並に神武天皇、明治天皇山陵に御參拜の爲め濱尾大夫、入江侍從長、山根武官長以下の供奉員を随へさせられ孰て仰出されたる如く愈々八日午前十時十分東宮御所御出門同十時四十五分東京驛御發車あらせられたり御參拜の日割は左の如し(東京特電)
▲十日 午前外宮(豐受大神宮)御參拜午後内宮(皇大神宮)御參拜
▲十二日 午前神武天皇山陵御參拜
▲十三日 伏見桃山山陵御參拜
▲十五日 午後二時五分東京驛御著還啓

○石塚總裁著釜

石塚東拓總裁は八日午前九時高麗丸にて釜山著同十時三十分發列車にて京城に向へり(釜山特電)

○總督動靜

七日岩國を發せる長谷川總督は同日下關著山陽ホテルに投せる旨神田秘書官より總督府に電報あり八日は同地滯在九日出發の豫定なり

○政務總監出張

山縣政務總監は遠藤秘書官、藤波通譯官を随へ八日午後七時五十分南大門驛發汽車に搭乘總督府を代表して釜山に長谷川總督を出迎ふ

○總督歡迎準備

長谷川總督は兩三日中に南大門驛著著任するにつき京城にては目下歡迎方法につき準備中なるが京城府は府協議員、學校組合議員、商業會議所議員等に對し南大門驛に出迎方通知する筈にて學校生徒に對しては八日午後二時より總督府にて開催せる官立學校長會議にて決定し公立學校は之に倣つて歡迎の順序を定むることゝなり居れり

○總督出迎打合

總督本府、同學務局、軍司令部、憲兵隊司令部、鐵道局、京畿道、京城府の主腦及び代表者等は八日午後一時より總督府第一會議室に參集し長谷川總督著任當日に對する出迎其の他の事項に就き協議打合を爲したり

○鐵道要員出迎

長谷川新總督出迎の爲め鐵道局より大屋長官三本理事和田總務課長の三氏八日午後七時五十分發列車にて釜山に向ふべく又汽車課の佐藤技師は一兩日前より釜山に出張し居れるが何れも十日午後歸任す

○軍司令官出張

朝鮮駐剳軍司令官秋山陸軍大將は長谷川總督出迎への爲め古城副官を随へ八日午後七時五十分發列車にて釜山に赴き十日總督搭乘の臨時列車にて歸任すべし

○立花中將出迎

第十九師團長立花小一郎中將は大森副官を随へ長谷川新總督出迎へのため八日午後八時(既報九日とせしは誤り)龍山發列車にて釜山に南下十日歸任すべし

○水利組合令案

内務部の立案に係る水利組合令案は其の施行規則と共に關係部局を通過し參事官室の審議も既に了したるを以て總督の著任次第決裁を求め急遽法制局に廻附の筈なれば其の發布を見るは多分本年度内なる可く大正六年度の劈頭より實施の豫定なり

○定例長官會議

八日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長、官房、長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集重要政務に就き協議打合せの上正午散會したり

○辭令

六日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府道事務官 吉田格之進
任朝鮮總督府々尹(敍高等官五等)
清津在勤を命す
朝鮮總督府事務官 今村邦典
任朝鮮總督府道事務官(敍高等官七等)
全羅南道在勤を命す
清津府尹 楠野俊成
仁川在勤を命す
朝鮮總督府事務官 高武公美
總務課在勤を命す

○新任教員署名式

京城府に於ては八日午後三時半より府樓上に於て新任教員十餘名の服務心得署名式を行ひたり

○秋山大將催宴

陸軍大將秋山好古氏は八日正午より軍司令官々邸に李堈公李埈公兩殿下を首め朴泳孝李載昇兩侯爵外朝鮮貴族數十名を招待し午餐の盛宴を張りしが陪賓として立花第十九師團長、小宮李王職次官古海鮮務總長白水軍參謀長等亦列席せり

○久水外事課長告別

今回總督府外事課長に榮轉したる前仁川府尹久水三郎氏は八日午前九時府廳に於て告別式を行ひ同日は在任中の殘務若干を整理の上退廳したるが九日よりは仁川より每日通勤すべく何れ家財引纏め次第數日中には京城に移轉すべしと(仁川)

○井上副參事歸任

東京にて開かれし運輸聯絡會議に出席せし鮮鐵旅客係主任井上致也氏は七日夜歸任せり

○仁川滯貨の近狀
=近く一掃せらるべし=
櫻井稅關長談

現下滯貨問題は實に朝鮮產業界の一大案件として其の解決の成否、遲速は啻に朝鮮經濟界に深甚の影響を及ぼすものたるは言を贅する迄の要なき所たり

▲滯貨の實勢 而して我仁川港に於ける滯貨の實勢如何を見るに最近に於ける當港在庫品の數量は市内各銀行、船會社、稅關上屋其他の倉庫に藏置せらるゝ米豆其他の雜穀を合し九萬八千石の多量を算し殆んど十萬石に垂んとする現況あり、然らば從來當港倉庫設備に於て幾何の收容能力を有するやと言はゞ銀行會社個人所有倉庫及び稅關倉庫中穀類の藏置に充當し得べき坪數は約千八百餘坪を算するが故に今假りに坪當り五十石の藏置力を有するとせば九萬二千餘石の收容に堪へ得るに過ぎずして前記在庫數量九萬八千石に比すれば既に六千餘石の過剩を生ずる事となるが幸ひにも本年は稅關構内に穀物業者の共同經營に係る倉庫二百七十八坪の新設を見たると稅關に於ても輸移出界の現狀に鑑み從來の穀物專用上屋の外更らに上屋倉庫三棟三百五十餘坪を輸出用に提供したるが爲大に收容力を增加し却つて多少の餘裕を存しつゝ有る現況なり

▲滯貨の影響 元來此の程度の當港在庫品は敢て珍とするに足る可き「レコード」に非ず例年出穀期に際し市價順調なるに會せば廻穀非常に旺盛を極め必然の結果として倉庫の拂底を告げ當業者は藏置場の獲得に狂奔するの常にして己むを得ずして露天積の儘積出船の廻航を待つが如き事尠からざるが出穀期に入ると共に多數の臨時船の廻航を見るが爲め港頭常に雜穀の輻輳を見るに拘らず其內容は新陳代謝し商取引は圓滑の裡に行はれたるに反し現今の狀態は貨物は殆んど釘付の有樣にして何時積込移出を爲し得るやの目算すら立て難きが爲め資金の運轉意の如くならず殊に銀行は一定倉庫に格納せられたる者に非ざる限り之を擔保として資金の融通に應ぜざるが故自然地方よりの廻穀を手控へざるを得ざるに至り一方在庫品は日時の遲延と共に金利敷料の加重を來し採算上益々不利に陷らざるを得ざるの現狀なり勿論現在の當港在庫品全部を以て滯貨なりと斷ずる能はず前記九萬八千石中には露國輸出用白米も亦相當の額に昇り支那輸出用準備米あり而して同方面に對する船腹は現在の定期船を以て優に需要に充て得べく又當地取引所渡米も前月末に於て二萬八千餘石の受渡を算せる程なるを以て賣手側は常に相當の受渡準備米を市場に擁するの必要あり此等の關係を參酌し純粹の滯貨なるものを概算すれば大約六萬石は內地移出品として市場に停滯しつゝ有るものと見て大差なきが如し然れども其の滯貨たると否らざるとを問はず此等貨物の市場に現存する限り夫丈當港の收容力に影響を及ぼす事となる可く開港術問の餘波は延て地方產地の停滯を釀すは必然の結果にして現に大豆の如きは著しく廻著を減じ最近一週間の平均廻著數は海路五百五十石鐵道二百二十石を算するに過ぎずして本品の如きは當港輸移出の不可能なるを見越し其の經路を鐵道に變せし者多數を生じ爲め上にも鐵道貨物停滯の因を爲し而して米穀の如き鐵道に依難き關係にある者は出穀旺盛にして最近一日平均の回著數鐵道は玄米千二百石白米二百十六石を算し海路は籾三千石を下らざる現狀なり

▲海運力の現狀 翻つて海運力の現狀を見るに當港寄港船は寄期航路合計八線にして內地移出品の輸送に任じつゝ有る者大阪仁川線、横濱大連線長崎大連線の三線にして其配船數は商船尼ヶ崎兩社を合し十一隻此一箇月間の延隻數は二十隻噸數一萬千九百三十四噸なりとす之に對する當港の割當船腹を平均四割と見る時は四千百七十三噸にして一隻六噸積とし二萬八千六百餘石の運送力を有するに過ぎずして假りに此運送力を以て滯貨六萬二千石を搬送し盡さんとせば約二箇月を要するの計算となり臨時船の廻航に依るに非ずんば到底解決の道なきは瞭なり臨時廻航問題の解決捗々しからざるは船腹の拂底運賃暴騰の結果貨主の躊躇に外ならざるが從來出穀期に於ける臨時船の船繰は北滿樺太北海道方面の就航船が冬季結氷期に入り航路の杜絕せる者を振向くるを常とせしに本年は時候溫暖の爲め臨時船の備入に困難を來せし事亦其の大原因たらざるを得ず遮莫逆ひに最近大阪商船會社と當業者間に商談成立し本月十五六日頃を以て入港の豫定なる臨時船日運丸(二三〇〇噸)の運賃率は阪神行百石九十五圓にして現行運賃六十二圓に比すれば三十三圓の高率を示せり同船の積載豫定數量は六千石に過ぎざるも現下の情勢は一日も其の回航の速やかならん事を望まざるを得ず後續船繰問題に關しては或は日郵横濱牛莊線の復航寄港を交涉せんとするの議あり又朝郵の廻航計畫ありと雖も未だ其成否決せず

▲交通機關の施設 唯最近聞く所に依れば兼ねて朝鮮貿易に最も緣故深き大阪商船會社は大いに義俠的努力を以て有力なる臨時船三隻の廻航を畫策中にして近く其の實行を見んとしつゝありとの事なるを以て之れが實現を見ば滯貨の疏通上尠からざる效果ある可く又鐵道に於ても極力貨車の配給をなし大豆特定運賃の協定を以て輸送に任ずると共に開港地よりの陸路輸出に關しても便宜を與へ居れりと聞くが故に是等海陸兩方面の疏通に依り滯貨は近く一掃さる可きも唯此際米豆市價が依然好調を持續し運輸費用の昂騰による負擔が地方農民の上に壓迫を來さざらん事を望んで已ざるなり(仁川支局)

○釜山滯貨と交涉

釜山に於ける穀類の停滯は倍々增加の傾向ありて當業者憂慮に堪へざるを以て釜山の重なる當業者は日本郵船會社代理店大池商會に會合善後策に就き種々協議の結果日本郵船會社米國航路船が米國より軍需品を積載し浦鹽に回航したる歸航の際釜山港に立寄り滯貨を積送せられんことを大池回漕部を經て日本郵船本社へ交涉すべく同回漕部主任山本寛太郎氏は六日夜東上の途に就けり(釜山)

○運賃問題解決

既報大阪商船尼崎汽船が群山代理店出張店を通じ來る十五日より共に米穀運賃の値上を實行するに對し當地米穀組合は役員會を開き凝議の結果兩汽船の本港定期臨時船を以て來る十五日以後三十一日迄に十萬叺を責任輸送の條件を提出し兩汽船の運賃値上を承認する事に決したるが汽船側も米穀組合の提出條件を承認し圓滿に解決したるものゝ如し(群山)

○忠清丸の遲延

本月七日頃群山滯穀第一回輸送として朝郵は忠清丸を阪神臨時船に差立つる筈の所同船は目下定期檢査を受くる爲め長崎船渠に修繕中に係り若干遲延の事となりしが多分十日若くば十一日頃迄には群山入港可能となるべし

○京城通關貿易

十一月の京城通關貿易は輸移出二十五萬零十三圓輸移入百七十萬一千五圓にして輸移出重要品は牛皮の十六萬圓煙草の二萬八千圓又輸移入の主要品は果實の一萬八千圓砂糖の二萬三千圓淸酒二萬八千圓絹織物三萬六千圓生金巾の十七萬圓日本木綿二萬二千圓毛織物三萬八千圓洋紙三萬四千圓紙類四萬五千圓煙草四萬六千圓等なり

○補助貨拂底救治策
大邱

地方に於ては補助貨の拂底甚しく商取引上の不便少なからざるを以て慶北第二部長は其の救濟策に付大邱各銀行主腦者と熟議の末朝鮮銀行の小切手を利用し大邱各銀行にて該小切手を額面十錢廿錢五十錢の補助貨代用として發行し七日より三日間試驗的に之れが市中の流通狀況を見る事となれり(大邱)

鎭南浦

▲十一月貿易 十一月の輸移出入貿易額は百四十四萬千圓(輸移出百二萬八千七百圓輸移入四十一萬八千圓)に達し是を前年同月に比すれば六十二萬餘圓の增加にして本年の累計は一千零三十一萬九千圓に達し鎭南浦が常に一箇年六七百萬圓の貿易額を有し年々夢想したる一千萬圓臺を十二月を待ずして新記錄を作りたるは偉觀と云ふべく其の景が因を爲せるは素より久原製錬所が本年一月より本月迄に四百萬圓に垂んとする粗銅の移出を開始せる事勿論なるが輸移出に於て前年同月及前月に比し著しきは米の廿四萬圓大豆の十萬圓等輸出入に於てはシーチングの一萬圓軌條の三萬圓セメント細叺の各二萬圓爆發物の一萬圓等其主なるものなりとす

大邱

▲慶北叺自給計畫 慶北地方米穀生產力增加と共に輸移出米穀に使用する叺の需用增加し是のみにて目下百萬叺を要するに至りしが慶北道廳は是が自給を計らんとして慶山、永川、淸道、高靈其他に於て叺生產販賣組合を組織せしめ本年度に於て五十萬叺を自給せしむるに至る可く漸次叺の移入を防ぎ近き將來に於て全部自給せしむる方針なりと

▲浦項金融近況 慶北浦項地方金融界は近來未曾有の繁忙を告げつゝあるが從來消極的なりし商人も所有資金のみにて不足を生じ資金の供給を仰ぐ有樣なれば農銀支店の如き貸出高實に二十萬圓に達し且つ通貨の不足より金種別を充たし得ず從て諸雜貨日用品の賣行き亦た非常に活潑なり金利は目下內地人二歩五厘內地人對鮮人三歩五厘を見つゝあり

▲陸軍用地引渡 過般其筋より認可されたる大邱旅團設置期成會より陸軍用地として達城郡所在地を寄附の件は愈々一兩日中に現地引渡を成し全部完了の筈

仁川

▲宮本技師視察 忠淸北道技師宮本技師は八日午前十時來仁商業會議所を訪問し上忠北道對仁川の米豆商取引に關し調査視察をなしたるが同氏の談に依れば近年仁川港の勢力圏は忠淸南北道に擴大し來り年と共に取引關係濃密になり來れるは慶ぶ可き現象にして今後交通機關の便益々加はらば密邇緊切の度彌々昂まり本道生產物の前途は此れにより一新生面を拓き得べき事と信ず本道の米は逐年在來種驅逐され今や玉錦其他改良種は五割以上に達したり大豆は中粒にて品質年々向上し本年の如きは米大豆共に昨年に比し植付反別の增加と豐作と相俟つて約一割三分の增收を見たる上に相場著しく昂騰したれば生產者の懷具合非常に暖かなり只遺憾なるは一般農民は上等米を自家用として下等米を放賣する傾向甚しき事にて道當局は機會每に此の弊風を革むるに努力しつゝ有り

▲輸移出檢查 仁川穀物協會檢查部に於ける本年一月以降近日迄の輸移出米檢查數は約二十萬叺にて今後船腹の充實を見、移出旺んに行はれなば本年內には二十五萬叺に達す可き見込なりと

人事消息

▲村田折氏(三井鑛山主任) 八日朝退京
▲田部源七氏(龍田組社員) 同上
▲曾田勇氏(總督府技師) 同上
▲江渕重樹氏(大倉鑛山部員) 同上
▲佐岡省輔氏(神戸製鋼重役) 九日朝退京の豫定
▲小野山藥次郎氏(北海農學校長)▲天草福太郎氏(群山農學校長)▲野村盛之助氏(春川農學校長) 同上
▲小林一郎氏(三井物產社員) 八日午後退京
▲高山楯氏(平壤農學校長)▲井上改平氏(安州農學校長) 同上
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 大連旅順へ出張中の處七日夜歸京
▲白井水城氏(同上) 海州より八日入京

●新總督の名に負ひし 長谷川町からは

町旗を先に立て、町内擧つて歡迎

長谷川新總督が近かく來任されるに就いて其名に負うて新總督と縁故の深かい長谷川町の人々は何かなして歡迎の誠意を表したいと一生懸命になつてゐる町の有志者の一人は曰く「何んと云つたつて長谷川町は新總督樣と

▼深かい縁故 を有つて居るんですから南大門停車場にお著きになる時には町内皆ないの一番に驅け付けて他所の町に後れを取つちや成らねねと云ふので私共は長谷川元帥が朝鮮總督に親任されたと云ふ電報が京城日報に載かつた日からもう非常の大騷ぎで歡迎々々と趣向を考へて居るんですが何が扨て口で云ふやうに仕事と云ふものは捗取らねねもんですが何でも當日は長谷川町と縮緬に染抜いた旗と今度新らしく拵へた「歡迎長谷川朝鮮總督」と大きく染抜いた吹き流しとを眞先きに押立てゝ出迎へしやうといふ事に成つて居ります町の入口にも

▼歡迎門を建て る計畫で其の筋に許可を願つて居る最中です長谷川さんが大觀亭に在いでになる頃私は何時も御用を勤めて居りました其の頃から今日まで町内に居る人はほんの僅かばかりしきゃ居りません其頭は長谷川町と云ふ名ではなくて小公洞と云つたんです町は狹かつたけれど小意氣の瀟洒とした街でした小倉二十四聯隊が朝晩大將のお宅と向合つて喇叭は吹くし勇ましかつたものです其頭の事でした小公洞と西小門西大門の居住者が大安會と云ふ會を組織して民團議員の選擧やら何にかにつけて

▼一致の行動を 取つたのですね之んな事が馬鹿に長谷川さんのお氣に入つたんですね、ほんとうに大將は平民をも可愛がつてくれて好い人ですせ、いよ〳〵内地へお還りの時に私共がお邸に參つて是非記念に何にか書いて下さいと頼むと大變にお忙がしいのに大安會と大きく書いて下さつたのです今でも紀葉湯の主人が大切に預かつて居ります、長谷川さんが總督に成て來られても直接吾々がどうと云ふ事は有りませんが何んだか嬉しくて堪らねねやうな氣がしますね」

●朝鮮米に舌つゞみ

内地米よりも結構と喜ぶ内地人 何うして恁んなに持て囃されるか

新穀の出盛期に入つた仁川には香川縣及び阪神地方等内地各方面からの米穀業者が毎日の樣に視察に來るが夫等の人の話に依れば朝鮮米の勢力は阪神地方から漸次擴大されて現今では關西一圓は言ふに及ばす

▼遠く關東方面に迄も 侵入して所在に於て内地米を壓倒して居る現に伊賀米の如きは鮮米と言ふ勁敵が現はれてからは殆んど氣息奄々たる狀態で生産者の不安恐慌は非常なものであるが將來生産額の増加品質の改良調製法の進歩が完全に行はれた曉は更に一層猛烈な勢を以て内地米を壓倒するであらう然し斯る現象は我々當業者に取つては極めて好都合の事で鮮米が内地米に對して格安である以上荷動きが旺んであればある丈け利益も大きくなる譯であるから假令内地に於て鮮米の勢力膨脹に不安を抱いて

▼此れを排斥する樣な 場合があつても肝心の貿易業者や米穀業者が採算の關係上盛んに移入を企てるから結局鮮米は排斥の聲が表面に高まつても移入税が撤廢されて居る理は前途益々有望で決して内地米に驅逐される樣な事はない然らば鮮米は如何にして内地市場に有力な地位を占て居るかと言ふに其處は裏に裏あり底に底ありで一般需要者は鮮米を臺灣米と同樣に擯斥して居乍ら日常鮮米に舌皷を打て居る樣な奇現象を呈して居るのに基因する便ち米穀業者や精米業者は内地の一等米に格安の鮮米上格を混じて一等米として販賣する此れが

▼若し精米の混合なら ば少々此の方面の智識を有つた者には直に看破されるが玄米を搗き交せて調製された場合は決して見分けがつかぬから其の間に於て利益を得るのであつて今では朝鮮米を交せると言ふ事は公然の秘密となつて居ると共に需要者も矢張り内地米と言へばそうと信じて何等怪しむ處無く用ひて居るのである只鮮米として最も甚だしい缺點は赤米のある事で内地も秋田米薩摩米には赤米があるが他の地方の産米には絶對に此れが無い、

▼往々赤米を發見する 夫れが爲め需要者の中には若があると朝鮮米を喰はせたなどと憤慨して以後の取引を斷る向きもあるが若し赤米さへ完全に除去されたならば鮮米は恐る可き勢を以て市場に活躍するであらう、それからも一つは鮮米は水の引きが惡いと言ふ批難を聞くが此れは乾燥が不充分の結果で此の點に就いて生産者は勿論籾摺精搗業者が些し注意したならば決して質に於て味に於て内地米に劣るものでない」云々(仁川支局)

●海底に鯨肉五萬圓

白翎島沖の難破船の搜索

本年五月二十一日午後九時頃長崎市築町原某の捕鯨運送船兵惠丸(百九十八噸)が黄海道長淵郡白翎島沖にて濃霧の爲め進路を誤り座礁沈沒し乘組員は短艇にて辛くも上陸したるが是が爲め船體五萬五千餘圓積荷なる鯨肉其他にて四千四百餘圓の損害を來したるより保險を契約しある神戸海上保險會社にては其の當時潜水夫を派して船體を搜索したるも潜水器不完全にて遂に發見し得ざりしが十一月二十二日大阪造船場の空幾太郎なる者右保險會社の委託を受けて遭難地に至り三日間潜水搜索の結果同船は陸地を去る約一哩の沖合水深二十八尋の箇所に沈沒し居ることを發見し其の引揚料金約三萬五千圓の見込なるも目下結氷期に近づき作業不能なるを以て來春四月頃引揚に著手すべしと

●モヒ中毒者施療 平壤警察署に於ては昨年九月モルヒネコカインの中毒者を[illegible]治療すべく嚴諭し本月二日より[illegible]教會の義金を以て平壤府觀實里三[illegible]十四[illegible]

[illegible]に面民より納附したる酒税を前後十[illegible]の勸務中本年三月以降十一月中旬迄[illegible]

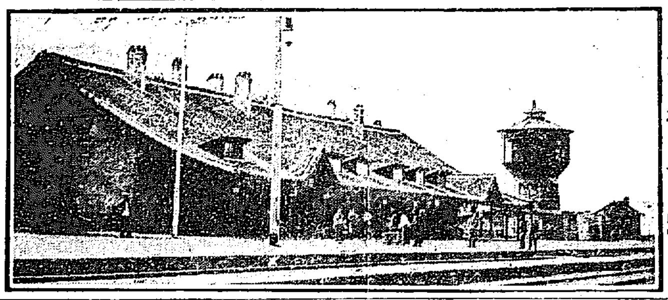
●連絡船上陸客 七日午前[illegible]山入港新羅丸二等客[illegible]

子池[illegible]れ、西山すみ、池與[illegible]長太郎、三吉菊太郎、香野倉造、井上[illegible]子、同玲子、磯野たき、宿竹[illegible]口愛吉、中瀬[illegible]

●貨物百廿萬留を燒く

寛城子驛の大火=七日早朝

七日午前六時寛城子驛(長春)に於て貨物係の支那人焚火を爲し居たるに折柄風激しかりし爲め火は同驛に堆積しある貨物に移り忽ち火災となり貨物の大部分を燒失し損害約百二十萬留に上れり(長春特電)



寛城子驛

寛城子驛は露寛城子と稱し東清鐵道最南端の驛にして我南滿洲鐵道最北端なる長春驛と相對して其間僅に一理半

▽兩國際停車場 の間は双方より鐵道を敷設して交互乘客の連絡を取る即ち露寛城子驛構内には我滿鐵派出所あり滿鐵會社員駐在して滿鐵乘車券及び滿鐵行貨物の取扱ひを爲す又我長春驛構内には同く東清鐵道派出所あり露國東清鐵道會社員出張して東清鐵道乘車券及び東清鐵道行貨物の取扱ひに從事す寛城子驛には高大なる給水タンクあり

▽同驛の特長 として遙かに之れを望む事を得殊に長春驛よりは手に取る如くに見ゆ驛は平家建の宏壯なるものなり驛前には長大なる平家建の兵營あり護軍團の一個聯隊常駐せり露國人は驛員の他に商家二戸あり約百名居住す日本人は藥種商料理店滿鐵社員等五十餘名の在住者あり貨物は目下大豆の出廻りに少し早けれど各種の貨物常に集積し殊に近來露國行貨物の停滯甚だしく同驛構内の如き又

▽滯貨に苦しみ 居る處なれば被害の程度思ふべきなり寛城子地方は冬春にかけて烈風毎日の如く吹き飽まで乾燥し居るを以て最も火災を起し易し、長春よりも滿鐵消防隊等驅付けて消火に盡力したる事と思はる(一記者)

●迷信から死體發掘

全北淳昌郡雙置面紫陽里の居住者陳秀は其の孫に當る方鉉の妻任姓女(二〇)が去月十日病死したるより其の死體は早速同里の共同墓地に埋葬したるが過日同墓地に來り該死骸を發掘せんとしたるより淳昌憲兵隊よりは出張して其の理由を糺したるに姓女は妊娠九箇月にて死亡したる者にて朝鮮にては古來よりの傳說に婦女が妊娠のまゝ死亡し、それを埋沒せば三年の間には必ず其家に於て子供を分娩するとあり其後に母子共に埋葬し置かば其の家族は勿論親族に至るまで恐るべき災害ありて代々子孫の繁昌する事なければ發掘して子供を分娩し居るや否やを正すとの事を述べたるが出張の憲兵は朝鮮舊慣の迷信なる事を懇々と諭したれば陳秀も合點したるらしく其の發掘を見合せたりと

●呼吸三十 嘔吐止む

大山公爵の病狀

大山公七日の容態は稍良好の模樣にて吃逆は時々起るも嘔吐は全く止み體溫は三十七、八度を昇降せり之れ氣管支加答兒併發の爲めにして濕布等の手當を爲しつゝあり又呼吸三十を數ふるは聊不安にして衰弱に原因するものなりと猶夜に入りても容態に變化なし(東京特電)

●長春寒氣猛烈

六日夜降雪あり寒威酷烈を加ふ(長春特電)

●貝採りに行つて鮮婦人五名溺死

平北宣川郡南面東津洞安日永妻朱姓女(三二)鄭成彦妻林姓女(三八)崔基龍妻金姓女(三一)崔鐵化妻金姓女(二九)崔石黄妻張姓女(三四)の五名は十一月二十二日南面東龍潭里の南方約二十丁許りの海岸遠淺の潟地に貝採りに行きたるが濃霧のため方向を誤り一同彷徨ふ中同日午後三時頃滿潮となりたるより狼狽して引揚げんとしたるも干潟の深き爲め進退の自由を失ひ遂に全部溺死するに至りたり急を聞き洞民出動して搜索の結果同日午後六時頃迄に屍體全部を發見したりと

●燒跡から屍體

江原道洪川郡乃村面踏豊里金法成方より十一月三十日午後六時二十分頃發火し洞民驅付け消防に努め居宅藁葺朝鮮建一棟を燒失して同五十分鎭火せしが燒跡より法成妻文姓女が黑焦となりて燒死し居るを發見せり文姓女は夕刻溫突に焚火中火が著衣に燃え移り次いで松葉に延燒して發火したるものならんと

活氣立つた市中 =贈答品撰び=

●家出娘

福岡縣遠賀郡千巻村生れ山本網吉の養女八重子(一九)と云ふは昨年の十二月に同郡八幡町字西本町の某方に縁付きしに何うした譯か實家に歸り來りしより知合なる同郡戸畑町松尾某方へ一時預け置きしに去る六月下旬實家に歸るとて出で行きし儘行衛知れず尋ね探りし揚句漸やく此程に至り釜山本町一丁目の荒井某方に居留する由を聞きたれば本人を說諭の上歸國せしめたき旨養父網吉より釜山署に願出たり(釜山)

●贓品で遊興

京城南大門通り五丁目小松洗濯屋雇人梁某明(二八)は十二月二日夜店の室より同家の預り品なる高貴織一反(十五圓)を窃取し同夜龍山彌生町角海老樓に登樓し一圓七十錢の遊興費の代金に之を提供し本町署に引致さる

歲暮の景氣

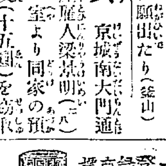
▼履物の移入が 毎月一萬圓 =京城の商勢力=

▼輸移入貨物 が激增した

京城稅關の調べによれば今年の輸移出入貨物は金額に於ても數量に於ても非常に增加したので、これを景氣のよかつた昨年の統計に比べても今年はおはなしにならぬ事程左樣に

▼貨物の出入 が多い、京城に輸移入される貨物では第一番に鮮人向きの金巾を大宗とし次いで綿糸砂糖、酒、内地人向反物類、紙、葉煙草といふ順序であるが小さい商品でも履物の毎月の移入が一萬圓以上にのぼるのは莫迦にならぬ、輸移出は牛皮、大豆、重石、黑鉛、叺、骨粉肥料、牛脂、食料品等であるが牛脂食料品が哈爾賓、滿洲等に行くのもだん〳〵增加して來たのと、本年十一月末の統計は輸移入百七十餘萬圓、輸移出廿五萬餘圓、これを昨年の同月末に比較すると輸移入に於て八十萬圓、輸移出に於て八萬圓ばかり增加を示す、更に本年十一月末までの累計を見ると輸移出百九十五萬餘圓、輸移入一千三百十三萬餘圓で殆んど大正四年度の

▼總計を超過 して居る、しかも六十四萬餘圓の超過である、併し此の他に龍山から輸移出される大豆の七十萬餘圓と鐵道托送による貨物は別物であるが此の向きなれば今年の景氣は非常なものと思はれる、殊に歲暮の決戰期はどうしても月の中旬以降のことで稅關構内に貨物が山積されるのは此の月の二十日以後であらう、統計金額の增加は一面物價騰貴の原因ありとするも今年の輸移入貨物が激增したことは數字の上から見て明かなることであると



登錄商標 本椿香油の大名譽 本舖 大阪 三宅

實業博覽會に於て數多き髮油の内獨り我本椿香油のみ金牌の榮譽を荷へり 如何に本椿香油は他の髮油より勝れるかを知られよ

故に曩きに宮妃殿下及宮内省御内儀御用の光榮を拜し華族貴顯方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられつゝあり

●注意 頭上桶なきは僞物なり 定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽謎『京城と掛けて』

▲天保通寶と解く心は元は八文(八門)であつた(先等) 京城 七松亭

▲秋の野狩と解く心は松露(鐘路)もある 京城 霜田

▲劍術の上達と解く心は竹刀の手ぎは(市内の手際) 龍山 松本生

▲戰後の衞生隊と解く心は死骸(市街)整理で忙しい 龍山 山家香公

▲産婆研究の材料と解く心は流産(龍山)難産(南山)がある 京城 末晩

■一等なし

(課題及募集規程)

◎募集規程 ▲用紙は端書又は郵便の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲賞品は一[illegible]

天氣 北又西風の晴れ

◎十二月九日 [illegible]

演藝案内

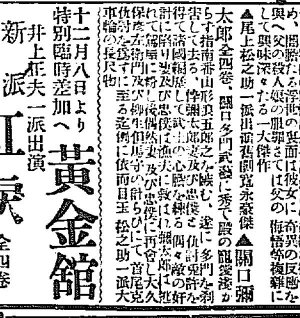
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 大正館 電話八七三

○十二月七日より大提供新寫眞 ○實寫 英皇大學運動會行等光景 ○喜劇 西洋二人息子 ○滑稽 知らぬ顔 ▲立花貞二郎關根達發合同出演『命』全三巻、母の虚榮と不貞とは及んで娘の迫害となり賭工と藝妓の義俠は惡魔の奸計を打破し不貞女の悲惨なる末路正邪盛衰情味津々 ▲伊國エクリプス會社大傑作 ▲探偵大活劇『魔洞』全三巻六千呎、貧窮迫りて娘はビヤホールに夜勤し父は惡黨に組す日ならずして名探偵に捕縛せられ娘も共犯として處刑せらる滿期出獄せる彼女の貧苦は自ら惡事を餘儀なくせしめ偶々牧師の同情は彼女の糊口の端緒を得せしめ、[illegible]浮世の裏面は彼女の反感をなさしめ父の殺人娘の犯罪さては父の[illegible]興味深々たる一大傑作 ▲尾上松之助一派出演舊劇寛永豪傑 ▲關口彌太郎全四巻 關口多門武藝に秀で殿の寵愛深かりしが指南番山形浪五郎之を嫉む、遂に多門を刺して去る、悴彌太郎之及び忠僕[illegible]仇討免許を得て諸國漫遊[illegible]

十二月八日より特別臨時差加へ 井上正夫一派出演 黄金館 新派大悲劇 紅涙 全四巻 老大に内容を語らず是非共御一覽の價値あり

明治町 電話二六〇 浪花館 新時代の浪花節吉川今勝一行來る ◎毎夜六時開演 ▲讀物續き △五郎正宗(吉川都)△征韓論(吉川鐵舟)△いかるが平治(吉川容堂)△慶安太平記(吉川[illegible])△法廷の涙、美人殺(長講二席吉川今勝)

天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 Mカシ一商會 朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上)二六三七(階下) 黄金館 十二月五日より當替特別大寫眞 ○實寫 伊太利クレーツの景 ○滑稽 [illegible] ○滑稽上ツたり下ツたり △丁抹ダンスク會社傑作『軍事大活劇密書』(全六巻)[illegible]

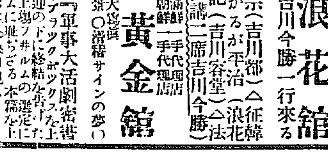


壯健なる身体を得るには今直ぐ御使用あれ

製造元 三田土ゴム製造合名會社 發賣元 大阪[illegible] 飯田商店

登錄商標 瓢水味淋 堺 [illegible]釀 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

醇良清酒



釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎 特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 明治屋支店

旅館開業 設備完全 懇切丁寧 [illegible] 春川旅館 電話三八番

新築落成移轉御披露

弊樓儀是れ迄不便なる場所にお粗末にして狹隘なる客室にて營業致來り候處各位の厚き御引立を蒙り今日まで無事に繼續仕候へ共何分以上の缺點は御眷顧に反く事甚だしく、久しき以前より適當の場所撰擇中先般旭町一丁目黄鳥谷(元初音跡)をトし廣間小間等新築中の處愈々落成仕候に付今回移轉と同時に營業上大改革を行ひ新鮮なる料理を低廉なる價額にて永く御愛顧に酬ひ度存候何卒不相變御引立の程奉願上候

尙ほ新築披露の印として午前八時より正午迄に御來遊の御方樣にはミルク湯並に會席御料理酒付御一人前金五拾錢にて御支度仕候間是非共御來遊被下度願上候

京城旭町一丁目(黄鳥谷) 會席御料理 からす丸 電話一五〇二番

…者あり調査の末昨年來…に注射手術…し居たる者なることを發見し客月三十日浮浪者檢擧の際平壤署に同行し…るも目下逃走中

●酒稅詐取事件　高陽郡龍江面孔德里居住元龍江面書記閔瓚鎬(三八)は其…役一年の判決を受けたるを不服とし同覆審法院に控訴せしも棄却となる

刑事の手帳から
◇年末の犯罪には ◇色んなのが有る

＝二＝店頭に看視人を置け＝

歳晩は各家庭共外部から人の出入する事が多いから鬼もすると紛紜が起り易く忘年會などが續くと酒の上の喧嘩も起る飲食店荒しも跳梁し荒立つた歳晩氣分に煽られて

■喧嘩や爭鬪■が随所に演ぜられる夫れから愈々差迫ると各商店のお正月物の用聞きが駈け廻る債鬼の膝詰談判が始まる斯う云ふ時分に一寸門前に乘り棄て丶措いた自轉車を攫つ拂はれるものが多い前にも云つた通り歳末は泥棒の書入れ時であるから盛んに活躍する最近京城の某官衙の入口で自轉車のみ數臺窃取された實例がある客の出入で沸き返るやうに忙しい大商店などでは

■店頭に一人■の看視專門の店員を置くのが肝要である自分の店から萬引や掻浚ひの縄付犯人を出したとあつては店の信用にも關する事であれば之を未然に防遏する手段として看視係を置くのも一策である、尚大道には年末歳首用の食器、玩具、裝飾物等を鬻ぐ小賣露店など出て賑つてゐるから是等の間を縫ひ歩るく内鮮人の不良少年や掏兒もある店頭で餘念なく陳列品に恍惚してゐる婦人などは

■飛んだ災禍■を蒙ることがあるから懐中物を失念してはならぬ其れから歳末になると場末の勞働者や細民などは徒らに酒を卿り債鬼が門前に近づいて來れば無暗に吻鳴り立て丶妻子を叱り飛ばし或は手當り次第に器物を投り散らして亂暴を働き債權者を追ひ遁さうといふ不届者もある殊に氣の毒なのは大晦日の夜になつて年間の集金額を一文殘らず使ひ込んだ店員に拐帶された商店もある是等は前以て信用ある店員にのみ集金させるか或は無暗に酷使せず相當の慰安を與へる準備的行動が必要である

◎稀しい鯖豊漁

江原道通川郡鶴三面沿岸各漁村にては十一月廿三日より二十五日迄の間に鯖約十八萬尾(價格七千餘圓)の豊漁あり貧民多き同地も是が爲め昨今大に賑ひ結氷期を眼前に控へながら頗る樂觀し居れりと

延白郡掛弓里飲食店金仁植(五七)は同面小雅里宋抄秀より結婚費二十圓を詐取し十一月九日海州地方法院に於て懲役四箇月の宣告を受け平壤覆審法院に控訴中なりしが何れも十一月三十日控訴を棄却さる

◎貯金通帳を窃む　山口縣萩町吳服商生れ龍山漢江通十三番地居住山本靖彦(二九)は十月八日釜山本町山田某方にて金額五十一圓餘の郵便貯金通帳を窃取したるを手初めに京釜線沿線、大邱等にても泥棒を働きたる末龍山に流れ込み漢江通伊藤某方にて理髪具を窃取し此程京城地方法院にて懲役一年の處分となれり

◎仁川小學校父兄會　仁川尋常高等小學校にては九日父兄會並に兒童保護者會を催す由なるが同日は午後零時三十分より一時間各學級に於て實地授業參觀をなしたる後二時三十分より家庭教育及び學校教育等につき懇談をなし終つて講堂に於て父兄會を催し開會に先立ち兒童保護者總會を開會し大正四年度收支決算の報告及び役員の任期滿了につき之れが改選を行ふ可しと(仁川)

◎深谷林學士の慶事　朝鮮總督府勸業模範場開谷牧場勤務山林技手深谷留三氏と…村炭氏長女春代子は今般…氏夫妻の媒酌に依り婚約成り來る十二月三十日倭城太神宮に於て神前結婚式を擧ぐる由新郎は東北農科大學出身の林學士にして新婦は京城高等女學校卒業の才媛なり

◎からす丸の新築　南米倉町和樂園内に料理業を爲しつゝありし料理店からす丸は今回業務擴張のため旭町一丁目貿易谷元初音跡に新築中なりしが落成したるため九日午前十一時よりその披露宴を張るべしと

初春の半襟

ローブアフルデーの様な禮裝は別として洋服の西洋婦人の胸元はあまりに淋しい、それに反して日本婦人の襟元の優雅なのは日本服の誇りさするに足ると思ふ人は舌離れも同じ心と見えて近來著しく＝殊に都の婦人が＝半襟に注意をする様になつた、此機を利用する商人は又年々歳々極端な斬新にして顧客の好尚に投じやうとして居る、初春の半襟には何とも言はれぬ心持の好い深味のある色彩がさま／＼ある例へば青、否それだけでは言ひ足りない、沓竹か否、紺か否、鼠色か否、小豆色否、七色が溶けて成つた様な、マア／＼雛ばかりを飾らずに實物に就て御覽なさいと云ふより外ない美しい色が、いろ／＼あるが、系統分けにすれば青紫、紺茶鼠等の何方かと云へば昔目が流行色である。地質は縮緬が八分で他の二分に金紗の縫り縮緬、縮緬などと見える、是れも地質の好みは何うしても重味の添ふた地厚の方が好いと、此春から秋の初め頃とは大分變つて半襟の地云ふこゝに人の好みが一致して來たらしい

◇世智辛い 浮世の裏表
＝是れから日毎に忙しい古物屋＝

師走に入ると急に目立つて繁昌するのは古物屋であるが此の稼業は世智辛い浮世の裏表を適切に遺憾なく曝け出すので多枯になつた仁川の景氣を窺ふには誂へ向きの處だ競賣所には時節柄ストーブや炬燵や鍋焼うどんの釜や襤褸の類が雜然として重なり合ひへし合つて居るかと思へば見た丈けでも

▲肩寒い垢光り のする煎餅布團や單衣の類が麗々しく優待されてある競賣の親爺曰く、素人は垢が著いて虱が出る様に不景氣になると古物屋が繁昌するかの様に考へてるが其れや大間違ひ第一景氣が惡いと人氣が銷沈して萬事が萎縮して了つて世帯道具にして衣類にしても成可く現状維持を尊重からお拂物になる物が有らう筈が無い五六年前迄は景氣が煽られる様だつたから自然日用品も新陳代謝した許りで無く山師連中が景氣を利用して

▲金を引出て は頭を討つて夜逃げをするので古物屋も濡手に粟のボロイ儲けも出來たが斯う金廻りが惡くなつちや夜逃げさへ碌な者が無いのでアキマヘン殊に不景氣になると稼業に失敗した者が皆んな資本要らずの古物商に變るので今年あたりは仁川丈けでも内鮮人合して百六七十名にも達して同業者は互ひに眞綿で頸を締め合つて居る様な者です

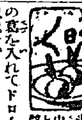
との愚痴たら／＼成程今日此頃競賣に出る物に金目の物や目欲しい者は無く殆んど總てが二世三世に歴任した扶助料付きの癈兵同様の代物計り然し昨年に比較すれば

▲景氣が宜い方 で立派な古物は無いが普通の者はドン／＼入つて盛んに捌ける相である仁川の羅日は一六であるが客筋は重に同業者で古い土耳古帽やルイ十三世紀時代の山高帽を被つた連中が盤を唄らして羅り上げる様は頗る猛烈で奇觀を呈する、古物の中でも道具其他の一寸値の出る物は内地人が羅り落すが買目幾何の襤褸や古本や金屬類は鮮人が上顧客で時には素人も交つて炬燵やストーブや潔庵桶の様な時節柄必要な者は隨分激しく競つて行く（仁川）

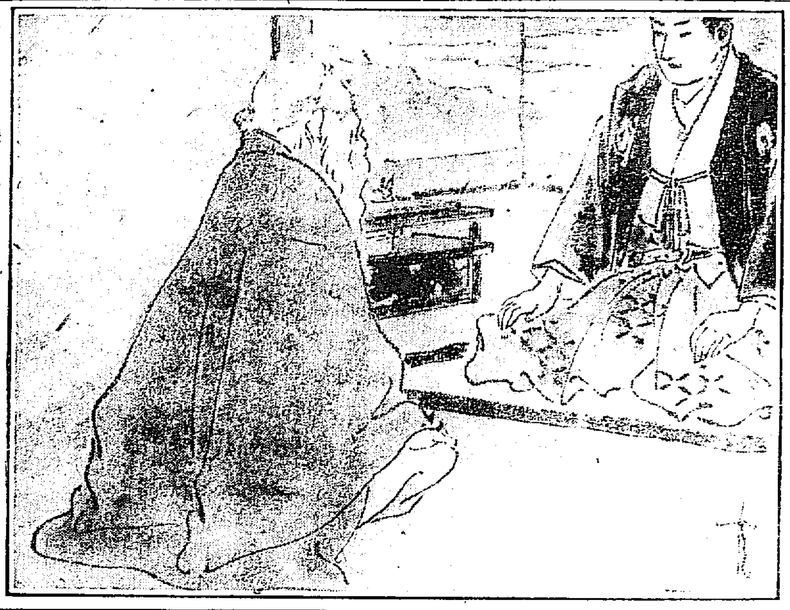
◎門松の注意　平時にては例年門松に大木を用ふる例あるより其筋にては森林保護の注意を喚起する爲め當年も門松は樹幹を用ひず松の枝を用ふべく府内人民一般に對し諭告を發せり

◎控訴棄却　支那盛京省鳳凰廳生れ當時安東縣元寶山下居住劉得財(三一)は平北龍川郡邑内日鮮人宅より金品を窃取し十一月十一日新義州支廳に於て懲役三年の宣告を受け又黄海道…

神社とお寺と教會
○開教院(本町三)　八日午後一時より鮮人數會あり
○京城基督教青年會　八日午後六時より江戸川に於て英語倶樂部を催しすき焼會ある由

たいこどころ その日／＼

○生鮭の照焼　生鮭を適宜に切り醤油に極く僅かの味淋を入れた汁の中に漬け置き串に打つて兩面を焼き味淋と醤油とを煮詰めた汁に水溶きの葛を入れてドロ／＼にしたものを焼いた鮭の兩面に塗る

宮本武藏
第二百三十九席
桃川如燕口演　浪上義三郎速記



信州善光寺は山號寺號が四ツあります、東は定額山善光寺、西は不捨山浄土寺、南は南面山無量寺、北は北空山雲上寺と申しまして最も御繁昌であります、曉雲は善光寺前信濃屋といふ旅籠屋に逗留をして居て、宿の亭主に申し付けて一盞の菅笠を出して置きましたのは二天へ目標と見せまする、處へ二天が彼のおみねを伴れて善光寺へ參り早速に知れたから信濃屋方へ著して曉雲に始終のことを告げると、曉雲も二天の義心を感じまして　曉『佛作つて魂を入れずでは叶んから此の娘を松代まで送り届け遣はせ』と茲に一兩日逗留をして是から同國の松代を指して出立をいたしましたが、松代は川中島の古戰場であつたが當時は十萬石の眞田の領地で至つて繁華な處でございまする、此の城内へ參つて重役へ目通りをしたいと申し入れますと、眞田賴母といふ家老が出て面會をする時に曉雲二天の兩人伊東源左衛門の娘を召伴れ云々斯く／＼の次第で、兄源之丞は相果たる趣を申し入れたから、眞田賴母は此の厚意を喜び篤く禮を述べ、曉雲二天は自分の小屋へ泊置きてみねを同道して大内記殿の御前へ出で逐一申し上げたから早速曉雲二天の兩人も目通りへ出て盃を下され　殿『此度は思ひがけぬ源左衛門の娘みねをお身達の厚意によつて其の無事を得て喜ばしい、みねへ家督相續を申し付るによつて安堵いたされる樣』と云ふので曉雲二天はまだ暫く滯在をして居つたが、曉雲は水野日向守勝成二天は宮本武藏正名と云ふことを聞いて大内記信政も大きに驚き鄭重に扱つて居りました、スルと此の眞田の家に御預けとなつて居りまする者がある、それは如何なる者だと云ふと、出羽の山形で二十四萬石鳥居左京亮忠政、何ういふ譯で公儀より御預けとなつたといふは寬永の十年駿河大納言忠長公の謀叛此の忠長といふお方は二代將軍秀忠公御子にして三代將軍家光公の御舍弟である、一時は北の丸の館と稱へて御威勢熾であつた、此の忠長公の御傅役本多上野介正澄が宇都宮城内へ釣天井を造へて三代將軍家を失はんとしたので事露顯に及び、忠長公は高崎の安藤家へ預けられ切腹仰付けられ、本多上野介は是亦切腹家改易、鳥居左京亮忠政は同じ傅役ではあるが此の事には一味はいたしません、なれども忠長公の附人といふ廉で山形廿四萬石は改易となり、其の身は信州松代眞田家へ御預けとなつて居るのでございます、最も眞田家では客分として叮重に扱つては居るが、昨日に變る今日の御身分洵に御痛はしいことであります、二天は曉雲に對つて　二『何ともお氣の毒の至り鳥居忠政侯の父上は慶長の五年八月一日伏見に於て戰死を遂げられた鳥居彦右衛門元忠侯の子息にて、實に元忠侯は徳川家にとつては誠忠無比の御人、猶祖父の伊賀守侯は徳川家の柱石の臣にして鳥居家の二代の忠臣は人も知る處、何卒鳥居家再興のことを御盡力を願ひ度、此の事は私の力に及ばず貴下のお力をもつてお願ひをいたしまする』　曉『イヤ二天、お前が云ふまでもない如何にも氣の毒であるから江戸表へ歸りなば、將軍家へ願つて鳥居家再興の儀を計つて遣はさう』　二『何分共に願ひます』と兩人は話しをしたが、是を知る者は外にはございません、宮本二天といふ人は信義厚き花も實もあるお人でございます、此の程は折々大内紀殿のお召しによつて御前へ出で御盃などを下される、今日も御前へ出で御盃を頂いた時に二天は、二『御當家にお預けに相成り居る鳥居左京亮殿は御繁昌にあらせられるか』　殿『別段變りしことも無い』　二『終日何をいたし居りますする』　殿『讀書にのみ耽り居る樣だ』　二『左樣にござりますか、左るにても天晴忠臣、然るに一朝御勘氣を蒙り御當家にお預けに相成りしとは氣の毒千萬に存じまする』宮本も落涙いたした

外科一般　皮膚科　淋疾 尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話四一九番

寫眞　旭町二丁目電話二六一番　河原寫眞館
一ペン御タメシ下サイ

妾しやアンパン ねしやドロップス　買ひに木村屋二人つれ（京城明治町 電二八七〇）

石鹸化粧品 婦人小間物 卸商
月本政次郎商店　京城明治町二丁目 電話一二二八番

十二月十日九星　舊十一月十六日辛巳　本命九紫　南　取　友引

▲九紫　利己主義の事多き日新事見合 西方は吉　▲一白　理窟外れの事有る日新事 手控吉　▲二黒　一切のせわ事せねがよし　大望屆は吉　▲三碧　持込よき日轉居旅行入學 名弘金銭萬吉　▲四綠　德の報受くる日轉居入學金件名弘求職架造婚禮特許出願件造船求職緣組水利業等萬吉　▲五黄　女子の慾話事業を計るに妙也　▲六白　頗る日萬進で利有　出遊船舶業等萬吉　皮相美の事有る日新事手控事は吉衛生に注意せらるべし　▲七赤　問のびな事有る日新事 手控事は吉　▲八白　〆括よき日轉居開業入學名弘家作求職緣組…定期業等萬吉

商況

公債直取引(前日との比較)
五分利公債　九五、六〇
深川在米特電
東京期米特電
大阪株式特電
大阪三品特電
大阪期米特電
下關期米特電

雜報
●亞鉛板更に奔騰　大阪市中相場の亂調甚だしかりし亞鉛板も其後人氣は愈々高潮に達したるもの丶如く七日の入電に依れば平板三十番二十五錢七尺二圓五十錢浪板六尺二圓九十錢と云ふ空前の高値を見るに至れり

十錢浪板十五錢高　平板三十番二十五錢方の奔騰　僅々數日間に三十

●洋紙類强硬　東京方面の洋紙近況によれば新年用紙は昨今地方向き荷動き夥しく都會の需要も又旺盛なる…

●精米引締む　十五圓四十錢…二十錢高

●毛皮類は脱合

●燐寸は漸騰　…四十二三圓

●生果類

●一瓦落あるべきかといふ

下關相場
京城正米
南大門の廻穀
仁川現物市場

大阪堂島米穀取引所仲買人　キ原潮商店　多少に不拘御注文願上候　電話北一五三三三三

鮮米豆取引所仲買人　三巳仲買店　電話三三一

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　海岸町三丁目　電話三〇九番長九一二番

田中金六商店

釜山穀物市場　七日
生魚市場
仁川期米
▲八日前場　大阪前寄十八圓三十八錢と昨止より三錢安の入電一節三十九錢と變らず移り
市場零聞
▲續て不勢
▲形勢一變　昨後場の氣崩
▲大に賣る
▲能く賣る
▲能く賣る
▲大に買ふ
▲大に買ふ
▲今の買退き
▲への商内
▲イの商内
▲全の商内
▲日の商内
▲①の商内
▲⊕の商内
▲更に下押す
▲賣本尊の誰
▲生み膿說が膿說
▲目先小天井か　昨日の高値十三圓四十錢より一圓二十六錢安

仁川米豆取引所
八日の一月限
賣買取組高

青物市場

(刊夕) 大正五年十二月九日(土曜日) 京城日報 (明治四十二年八月十九日第三種郵便物認可) 第三千三百二ヶ號

子宮病血の道と
慢性の胃腸病及
せんきリウマチスに悩む人は
神仙湯(しんせんとう)を是非試よ

彼れ是と迷ふを無く
眞に能く効く

躰質改良劑

を服用せよ

神仙湯は
◈先づ胃腸を整へ……
◈血液の循環を能し……
◈總身を温め……
◈筋肉の凝を和げ……
◈極て氣分爽快ならしむる
藥効作用を有す……

故に
▣烈しき神經痛で悩みし人
▣頗る難治のリウマチスの人
▣數年固疾の疝氣で苦しみし人
▣百法効なき子宮病の婦人
▣常に悲しむ血の道の婦人
▣多年悩めるヒステリーの人
▣不治の慢性胃腸をあきらめし人

などが此良藥神仙湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉しさの餘り懇篤な證狀(現在保存一般の閲覧に供す)を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に悩む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神仙湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

●こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛●彼處是處と移動し●何となく痛く●腹張差込●溜飲●食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●寒氣●逆上●血眼●目暈●耳鳴●頭痛●歯痛●頭重く肩凝●腹に力なく●腰足冷へ●夜眠られず●根氣薄らぎ記憶あしく●氣鬱●癇高ぶり●物事に感じ易く●顔手足の浮腫等疝氣リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に悩む人は片時も早く神仙湯を試みよ

藥價
半週廿五錢●一週六十錢●二週一圓十錢●三週一圓六十錢●五週二圓五十錢●十週五圓●試用分十錢●廿錢

後刻
と言へば時機を過る
今直ぐ直ぐ服用せよ

第三千三百二十七號（一）　THE KEIJO NIPPO　大正五年十二月九日（明治四十三年九月二十日第三種郵便物認可）

京城日報

九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

第三版

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七拾五錢 郵税共一ヶ月金八拾五錢
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

下關期米特電

▲八日後場 [illegible] 十三圓丁度引先十三圓十一錢と三錢安に寄付た [illegible] 大阪筋安を受けて遂に十二圓九十九錢と直叩き [illegible]

東京より

○更に露國債券を前後二回に一億二千萬圓だけ引受け、更に英國債券一億圓を紐育にて引受けたる我國は、今回更らに英國債券一億圓引受くる事と相成申し候。

○即ち從來債務國たりし我が日本は漸次債權國たらんとするの形勢を馴致し來り候、元來日露戰役後に於ける政治界の大問題は、正貨補充を如何にすべきかに有之、數回內閣起伏も之に原因する處多かりし事に候。

○而して之れに對する桂公其他の政策は、借金を以て借金利子の償還に充てしと、如何にも心外の至りなれども、國力不相當に債務の增加したる我國の如きに於ては、全然自力を以て其の利子を支拂ふ事となすに於ては、市場に大變動を與へ國內の產業を玉石共に燒く事となるべければ他日國力の之れに堪ゆるに至る迄は當分外債の利子を支拂ふにも、其の幾分は外債に依るの外なしと云ふに有之候。

○日露戰役後屢次外債の募集せられ加之市債及び社債の外國資出が、時の內閣に依りて頻りに慫慂せられたるが如き狀ありしも、全く此の正貨補充策より來るものに有之、五分利公債整理に關し、內債を償還するにも其の幾部分を外債に據りたるが如き、亦此の政策より來りたるものに外ならず。

○東京市電車買收市債八千萬圓の海外資出の如き、即ち桂公が第二次內閣經營の間際に、後繼內閣の爲めに遺したる一遺策に有之候、其の西園寺內閣の山本藏相に依りて非募債論は主張せられたるも、到底實際に行はれ得べくもあらず、其後大隈內閣の若槻藏相に依り非募債策は唱道せられ、外債募集の場合に利用すべく設けられたる鐵道公債二千萬圓も、全然豫算より削除せられ、其結果が財界に如何なる影響を來すべきか。

○即ち外債なしに果して遣つて行けるや否や、一個の疑問となり居る矢先きに形勢は一轉急轉、債務國として其の利拂に苦心せし我國は却て債權國となり、從來の苦心の種なりし正貨補充問題は、茲に全く消滅したるものに御座候。

○斯くの如くにして過去に於ける問題は一掃せられたるが、之れと共に生じ來りたる問題は、海外に堆積する正貨の處分を如何にすべきかに有之、紐育に於て一億萬圓の英國債券を引受ることゝなりたるも之れが爲め、預金部にて巨額の英債を所有し居るも之れが爲めに候。

○七億萬圓の正貨中、日本銀行正貨準備に充てられ居る三億四千萬圓を除き、殘る三億六千萬圓の大部分は、斯くの如くにして大概外國債券に化し居り候、左れば現在の正貨の處分は大概つき居る譯合に御座候得共、正貨は猶逐日增加しつゝあり。今回の英債引受けは、即ち今日の處分殘り及び向後增加すべき分に對しての處分策に御座候。

○又た今回の英債引受けに就ては他の目的も有之候。近日通貨の膨脹するもの昨年に比して約一億圓。其の結果として諸物價の騰貴は實に恐るべきものあり、此の膨脹せる通貨を減縮し、經濟界をして其の平調を失することなからしむるのが、第二の目的に御座候。

○通貨收縮に就ては政府は大に努むる所あり、軍艦代として受取りたる千五百萬圓の露債資出の如き、其の一策にて預金部所有の公債を資出さんかとの計畫も有之候、勸業銀行の五百萬圓の割增付債券賣出も、政府の此の趣意を承けたるものに相違無之と存候。

○却說此の一億圓の英國債券を引受けたる結果、外國貿易に如何なる影響を與ふるやと謂ふに、該一億圓を彼地に送るには、勢ひ輸出爲替を買入るゝの外なく、其の結果更に輸出貿易を獎勵する事と相成可申と存候。（十二月四日）

羅都果して陷落せしか　巴爾幹亦危し

伯林電報の獨逸公報は羅馬尼の首都ブカレストの獨軍の手に歸せしを報じて來た若し果してブカレストが敵の掌裡に歸したとすればワラキヤ全體も亦獨勃軍の蹂躪する所となり假令首府をヤッシーに移しモルダビヤの地勢を利用して敵軍に抗峙せんとしても事實上羅馬尼は塞爾比、黑山の兩國と同樣所謂國破れて山河ありと云ふ慘狀を見るべきは必至の勢ひである、羅馬尼が斯くの如く悲境に陷つたのは畢竟羅馬尼夫れ自身にも遺算があつたに相違ないが其最大原因は羅馬尼をして蹶起せしむるに努めた聯合國の救援が不十分であつたことを認めざるを得ない元來羅馬尼が聯合國より十分援助のあるべきを豫期し聯合側も亦之を保障した結果であるから羅馬尼も露軍が東部戰場で優勢を示し南下ブゴヴィナを陷つた時を機として愈蹶起したのである最初羅馬尼軍は露軍と相提携してカルパシャン山脈を踏破しトランシルバニヤに入つてブタペストを衝くと共に一方ドブルヂヤ方面は優勢なる露軍及びサロニカ聯合軍相策應して獨勃軍を壓せんとする策戰もあつたからトランシルバニヤ方面の羅軍は勇猛幾多の難關要塞を奪取したにも拘らず日を經ると共に軍器糧食缺乏して戰はんと欲するも能はざるに至り遂にファルケンハイン將軍の爲めに無殘な敗衄を觀たのである之と共にドブルヂヤ方面の露軍も最初はダニューブ河の天險を恃みとし敵軍に對して居つたが勇敢なるマッケンゼン將軍の攻擊に敵することは能はず連戰連敗遂にドブルヂヤ全州を奪はれ是等兩軍の殺到に依つて今や首都の陷落を見たのであるそして次にはバルカン半島も遂に獨勃軍のものとならん、バルカン半島を擧げて敵軍に蹂躪さすのは露國の忍びざる所であるから近く高加索總督ニコライ大公を露羅南軍の總司令官に任じ四十萬の露軍を提げて獨勃軍と雌雄を決せしむることゝなつたが獨勃軍には獨逸の鬼將と云はるゝマッケンゼン將軍及びファルケンハイン將軍があつて精銳を率ゐてゐるので露軍には勝目が少くない然し獨勃軍は露羅軍を擊破しても直に露境を越へずに冬期に這入つたから露羅南軍を防守するだけの兵力を殘して西方戰場に殺到すると思はれる而して其途中獨勃軍は歸りがけのお土產としてサロニカに居る聯合軍に當るであらう希臘には革命政府はあるが未だ軍隊を有して居らず軍隊を有する王黨は表面中立を裝ふけれ共內心は獨勃派であるから露羅軍が獨勃軍と決戰して敗走せばバルカン半島は擧げて獨勃軍の占領に歸することゝなるだらう、殊に今回獨勃軍の占領に歸した羅國のワラキヤ地方は歐洲の倉庫と云はるゝ有名なる穀物の產地であるから獨勃軍は今後決して糧食に不自由を感ずることはあるまい從つて戰局は今後何年續くか益々豫想が附かなくなつた（某軍事通談）

陷落の報傳へらる
羅馬尼首府ブカレスト及同國王

大阪より

△貨物出廻と商船　大阪商船會社にては朝鮮米出廻の一層に努むる外目下出廻期即ち天津方面の棉花大連の豆粕大豆等の輸送をなすべく過般來餘船せし日運丸（二二〇〇噸）山陽丸（一一〇〇噸）永田丸（一一〇〇噸）の三隻を隨時に各方面に向け月二回の豫定にて運航すと

△商船運賃値上　大阪商船會社は十二月十六日より大連行雜貨又朝鮮行雜貨は一日より何れも五割方値上をなす尚遠洋航路の孟買行も一月より二割方値上げをなすと

△炭價暴騰と海外炭　內地石炭界の暴騰は其の餘波を滿洲各方面の炭價に影響を及ぼしたるが滿鐵の撫順炭販賣課にては過般一噸につき九圓十錢の値上をなしたるが同課にては炭界今後の値上げを見越し年末迄に尚ほ一圓の値上をなす由なり

△銅塊積載と原田　近海航路に於ける貨物輻輳は各定期船は勿論社外船とも毎航滿載の狀態なるが就中銅塊の積込等は一般貨物に比し多數の時間を要するを以て之等荷役を後廻しとなすが從來の習慣なるを以て自然荷主より苦情紛々たらざる次第なるが今回各荷主は原田汽船會社に積込方を交涉せる關係上同社は之を引受け郵船商船兩社の承諾を得て七日より同社所有船第三萬成丸（九百噸）を青島阪神間に銅塊のみを積載し回航すべしと

△最近の金融界　昨月末は資金の移動頗る繁劇を呈せり株式受渡の如き東西兩取引所にて殆んど一億圓近くの巨額に達し其他諸決濟資金の需要等相嵩みたるを以て日本銀行空前の巨額に達し日銀支店に於ける兌換券發行高五億餘萬圓限外發行四千二百萬圓貸出一億五百萬圓と云ふ貸出も著しく增加し別項の如く千二百九十萬圓即ち前週末に比し約七百萬圓の增加を見たり斯かる狀勢なりしを以て金利も著しく變動を來たし無條件コールは月末に於ては殆ど出合なく唯翌日拂に於て多少の取引ありたる位にて而かも日步は一錢三四厘より一錢七八厘と區々の取引を見割引に於ては紡績手形一錢四厘乃至四厘五毛擔保付四厘より一錢六七厘と近來になき高步を唱ふるに至れり月初は順調に回收されれ日銀支店貸出も四百五十萬圓に減少しコールも一錢一厘に低落し漸次緩和を呈すべき狀勢を示せり乍併年越に涉るものは目前季末決算期を控へる爲之が氣構にて差したる低落を見ず依然一錢五六厘に保合へり（大阪支局）

日報俳壇

課題　▲木枯（締切同十日）▲冬田（締切同二十日）寒雀（締切同廿五日）

（注意）一週に付一人十句以內、用紙は半紙型、本社編輯局日報俳壇係に宛て投函の事

廣告

告京城分會員
新任長谷川元帥閣下は十日午後南大門驛著の筈に付分會員は午後二時半迄に分會旗の下に集合相成度し
帝國在鄕軍人會京城分會

山路愛山著　新刊發賣
支那論
四六版三百四十頁 定價六十錢 郵稅六錢
[illegible]
發行所 東京 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報代理部

胃腸最新藥
チケスチン
日本歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進重病後の恢復期、營養補給の目的にて肺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◎說明書送呈
東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商廈

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も敏速且つ精巧を以て最も低價に可仕候
京城日報社 寫眞製版部

新刊書御案內

書名	著者	定價
大日本國語辭典 第二卷	上田萬年 松井簡治 共著	特價五、五〇
悟道の妙味	釋宗活	九〇
徹底禪	秋野孝道	九〇
現代國民修養大鑑	青年教育分編	一、八〇
現代英國の產業革命	植原悅二郎譯	一、二〇
國家の盛衰	桂崙俊香	一、〇〇
日本先住民族史	藤原相之助	二、三〇
先驅者	谷崎精二郎譯	一、四〇
訂正增補 現行書式大全	淡洪淳	二、五〇
書道文庫 第一編 書法問答 全	小野鵞堂之助	七五
漢字用法	綾部虎太郎	六五
大日本雄辯史	三笠弘道人	七〇
金剛力	高橋竹迷	九〇
訂正天才論	淵識	特一、〇〇
巨人星亭	伊藤痴遊	一、五〇
成功者履歷一本から	岩谷英宮	一、五〇
虛榮の女	森田草平	一、一〇
悲しみの日より	茶木しげ子	五〇
詩集 伴奏 第一輯（冬）	外五大文學士	三五
千曲川のスケッチ	島崎藤村	六〇
流轉のはじめ	小林榮子	三八
標準かるた美麗箱入各種		自二五 至四〇

大阪屋號書店
京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城二五七三番

▲今の買退き　後場商店より買退きたる玉數は [illegible]
▲現物界　地場米十一圓八十五錢より十二圓五十錢迄 [illegible]

八日の十二月限
寄付 十三圓十一錢
引け 十三圓十三錢
十二月限 五萬千百石
一月限 十二萬四千石

內容完美・意匠清新・舊曆對照・紙質秀絕・價格極廉・注文殺到

博文館大正六年當用日記類

當用日記
洋裝美本・紙數五百四十頁・携帶便利
六形 上製 正價六拾五錢
中形 總革製 正價九拾錢
中形 背革製 正價五拾五錢
中形 上製 正價四拾五錢
中長形 上製 正價參拾八錢
小形 上製 正價參拾五錢

懷中日記
洋裝美本・體裁清麗新奇・携帶至便
上製 正價拾九錢
並製 正價拾參錢
細長形 上製 正價貳拾貳錢
細小形 正價拾六錢

ポケット日記
ABCは記載欄豐富にして携帶至便且つ九上の筆記用に適し堀洋箔面內容最も充實せり。DEFは形態小さくポケットにチョッキに携帶至便、G號は細長形にして清新愛すべし。
總革・裝幀優美・三方金緣美本各函入
A號 原形 正價五拾八錢
B號 薄形 正價四拾五錢
C號 若竹附 正價六拾八錢
最新形・總革・三方金緣美本各函入
D號 小形 正價貳拾八錢
E號 小形 正價參拾五錢
F號 翠中形 正價貳拾五錢
G號 細長形 正價參拾錢

英文當用日記
中形總クロース美本 正價五拾錢 郵稅六錢

英文懷中日記
長形總革三方金緣美本 正價參拾八錢 郵稅四錢

家庭日記
中形上製・五百有餘頁 家庭日常必備重寶 正價四拾五錢 郵稅八錢

家計日記 出納記入帳
二種共中判洋裝美本 甲種 乙種 各貳拾貳錢 郵稅各六錢

家長原簿
之は一年限りでなく永久に使用ができます
大判上製函入七百餘頁 齊家唯一の大寶典
特製 壹圓參拾錢 上製 壹圓拾錢 郵稅各十二錢

博文館
東京市本町 振替東京二百四十二番
販次全國書籍雜誌店及文房具店

特許ウエバー式（テーパー型）鐵筋コンクリート煙突
外觀壯美、施工迅速、堅牢無比、工費低廉高價なる煉瓦製に勝る
大分縣佐賀關久原鑛業株式會社製煉所に於て築造中なる
世界第一の鐵筋コンクリート煙突
高さ地上五百五十呎、底徑九十五呎 頂上內徑二十六呎三吋
目下四百五十呎まで築造進涉し十二月中全部完成す
（カタログ進呈）
特許 ペデスタル式基礎工事
コンプレッソル 鐵筋コンクリート 一般工事
コンクリート用器材販賣
東京市麴町區八重洲町一丁目一番地
東洋コンプレッソル株式會社

タイヨー萬年毛筆
曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

全部改版 愈發賣
帝國六法全書
總革折込爪掛見出最上特製函入 金一圓七十錢
總革折込天金上製 金一圓五十錢
背革上製 金一圓三十錢
送料各十二錢
完全無缺の六法として江湖に多大の高評を博せる本書は昨年末火災の厄に遭ひ遂に絕版となり實に以來大方の渴望を缺き遺憾とせし所、爾後全力を盡し半歲の長きに亘りて一大訂正を加へ根本的改造を爲し漸く本書成るに至る。今や製本（總革見出附、總革天金、背革上製）三種を選び愈發賣す

司法省許可
刑事訴訟法改正案
最新刊 全一冊 正價金十三錢 送料二錢

東京市神田區一ツ橋通町 有斐閣

羅都陷落と講和懸念

羅都ブカレスト陷落の報は一般に深甚なる注意を喚起し之が爲め露獨間單獨講和成立の機會到達せるにあらずやとの悲觀說再燃せり(東京電報)

獨軍シナイアを占領す

獨逸公報に曰く獨軍はプロエスチー西北方三哩なるシナイアを占領したり(倫敦電報)

獨潛艇米汽船擊沈

紐育來電=獨逸潛航艇數隻は何等の豫告をも與へずして米國汽船ジョン、ランバート號(一五五〇噸)を砲擊し之を擊沈したり右潛航艇は同船員が端艇に乘り込まんとする際迄も砲擊を止めざりしと(倫敦電報)

尻馬に乘る公民會

黑幕は國民黨=張督軍の取締

奉天公民會は會員を各地に派し日支交涉の眞相を演說せしめ又吉林、黑龍兩省と聯合して運動方法を講じつゝあるが元來公民會の行動は北京國民黨の使嗾に出で國民黨は公民會を通じて其の勢力を奉天に扶植せんとするものにて目下國民黨の參議院議員二名北京より奉天に來り國民黨支部設置の運動を爲しつゝあるが張督軍は之れを喜ばず何公民會には學生多きを以て張督軍は學生の政治に容喙するは國家に害毒を流すものなりとて之れを取締りつゝあるが要するに公民會は社會上何等實力なきものなり(奉天特電)

米海軍擴張費計上

米國に於ける來年度豫算總額は十二億圓にして內海軍費三億八千萬圓海軍擴張費二億一千萬圓を計上せり(紐育電報)

內閣會議內容

既電の如く八日の定例閣議は午前十時三十分より開會鐵道院人事に關する件古川副總裁辭任に就き之が後任として長尾九州鐵道管理局長の陞任及び技監制度復活に伴ひ長谷川中部鐵道管理局長の任命其の後任として大園監督局長轉任の件等を附議し正午過散會せり(東京特電)

技監設置決定

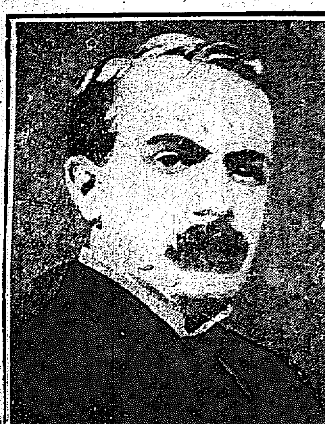
鐵道院に技監設置の件は八日の閣議に附議決定したるを以て後藤總裁は直に上奏多分九日發表の運に至るべしと(東京特電)

東拓經營の根本義

石塚東拓總裁車中談

石塚東拓總裁の歸京を途中迄迎ふ其の車中談の一端に曰く

▲重役顏揃ひ 先月下旬の臨時總會で東拓重役の顏も漸く揃つた高瀨理事は今まだ大阪にゐるが九日に立つて十一日に歸京し、松平理事は東京を十日に出發十二日に著任の筈だ、愈々重役全部會社に集まれば夫れから今後の東拓經營に關する諸般の打合せを行なひ、改革すべき事は改革し、實行すべき事は著々實行して行く積りである、予等は最近東京大阪で數回に亘り朝野の名士新聞記者諸君を招待し新任披露の粗宴を張つた、席上予は注意して將來の會社に對する江湖の希望を聞かうとしたが、殆んど何等纏つた意見を耳にするを得なんだ、之れ大方諸君子の予等を信頼して然るか、又た行り方の如何を見ようとするのが、何れであるか分らぬが、それは兎に角として予等は誠心誠意會社の使命を果すに十二分の努力を惜しまず世人の期待に副ひたい覺悟である



英國內閣組織の任に當れるロイド、ジョウヂ氏

▲金融部の活動 東拓は今後金融部に主力を注ぐ事とする云々の事は予の談として內地新聞にも見えたやうだが、予等の意見は彼の假へば土地經營殖民灌漑事業の如きを棘外して迄金融に會社の力を傾けんとするのでない、唯金融部の事業は仕事が早い、成果を收むるに捷徑だ、又最も眞先に進んで行くべき性質を帶びてゐる、金融の便を先鋒として諸方面に進み而して其の後から土地投資をやり殖民を行ふと云ふのが先づ順序であらう、斯うした意味に於て會社の金融部は今後十分の關係と活動を要する譯で、色々な企畫をしてゐる

▲將來の東拓移民 東拓移民を今後怎うするか、之れは補給金の事も關係し又實に大問題だが、何うも小作的の移民は理論並に實際上より見て成績がよくないやうだ、朝鮮人の小農者を逐ひ拂つて其の跡へ內地人農民を收容する事はそこに衝突を生じ外に面白からぬ事情を生じて來る、で今會社が募てゐる第二種移民=乃ち地主移民を今後招募する方が適策ではないだらう乎、作併目下募つてゐる結果は如何、內地民の地主移民に對する所見は如何、目下の條件では內地から渡鮮しようとする人が乏しいとすれば、其の待遇を怎う變へたらよいか、さうした方面の問題は今後愼重に研究を要するのである、無論今日小作移民の募集を全廢すると云ふ事も輕々しくは斷ぜられない

▲會社の眞使命 今年は朝鮮の米豆が豐作であつた、それに內地の米の輸入不足や色々の材料が原因となつて穀價が大變よい、會社で籾の收納は三十四五萬石に達するであらうが、目下の相場は昨年に比し石一圓五十錢所高いとしても東拓は五十萬圓も收入多くなる譯だが、土地の利益、土地の收入、それが頗る好調だからと云つて大地主然と納まりかへるのは會社本來の目的に反する土地は追々移民に配分して行かなければならぬ、而して會社は金融拓地の未だ具體的には云へぬけれど其他の方法で收入を圖り相當經營を持續する必要がある、そこを主眼とし其の道程を步一步進まねばならぬから現在及び將來の經營に苦心を要する次第だ……東拓法改正案は無論今期議會に提出さるらしい、內容並に補給金の事などは予輩は一向に與り知らぬ

米穀出廻減退

其筋最近の調査によれば本年一月より十月末迄の朝鮮各港に於ける玄米中白米、精米、籾、粉米其他の出廻額を見るに昨年同期に比し左の如く約八十萬石價額約五十八萬圓の減退を示せるが之が原因を究むるに本年は例年に比し米の取入期稍遲れたると米價昂騰し前途の強氣配を持續せる爲め一般農家に於ては賣惜みの態なりしのみならず船腹不足の影響により滯貨關係にて米の出廻り意外に捗々しからず昨年に比し大に出廻減を示したるもの如く鮮內各銀行が米穀資金として十一月末迄に既に一千萬圓を貸出したるより見れば米の出廻りは十一月に入り旺盛となりたるものと見るべく年末迄には大體昨年と大差なき出廻を見るべしと今十月末現在各港の米出廻額を示せば如左

	本年十月末	昨年七月末
玄米	三七六、一六三石	九三一、七二九
中白米	一七、一四四	三六、五六七
精米	五一六、八五二	五八〇、二四四
籾	七七、九一九	一二六、七九五
粉米	八〇、一一二	一二一、八八三
其他	三、一七三	一一、八四三
計	一、〇七一、三六三	一、八〇九、〇六一
價額	二二、二二八、三八八	一七、八八八、六五九

釜山滯貨數量

釜山驛に於ける十一月中の鐵道輸送に係る穀物廻著數は連帶輸送一萬五千二百噸十二月は去る五日迄四千噸にして釜山地著は十一月中一萬五千三百三十噸十二月は六日迄四千八百六十九噸なるが之れが一日の平均は連帶及び地著と共に約一千六百噸なり而して現在停滯せる貨物數は四千五百噸に達し猶ほ朝郵船會社汽船にて每日約二千五百叺(二百噸)の回著あり現在荷揚場に停滯せる數量は約三千餘叺に過ぎず而も此以上は收容の場所なきを以て回著荷主に其都度荷主に引渡を爲し居れりと(釜山)

朝鮮の鑛業は如何に發展せしむるや

鎭南浦會議所會頭 西崎鶴太郎氏談

九州京阪地方へ久しく旅行中なりし鎭南浦商業會議所會頭西崎鶴太郎氏は一兩日前入京浦尾に滯在中なるが其の談を聞くに

▲鐵鑛石の供給 今回內地行きの用向きは予の八幡製鐵所に對して採掘供給を請負居る載寧鐵山並に富田儀作氏及び予の共同經營となり居る殷栗鐵山の鑛石を更に大正七年より向ふ十箇年間供給の契約を製鐵所との間に契約するにあり同地に滯在約一週間數次當局者と交涉の末今日迄の價格より大差なき鑛量乃ち載寧より年額十萬噸內外殷栗よりは約六七萬噸を送致する事に纏りたり

▲朝鮮鑛業界の發展 を企圖するには幾多の施設を要する事勿論なるが先づ(一)鑛業協會の如き鞏固なる團體を組織する事(二)採鑛冶金を專門とする鑛業學校の設置最も必要なる如し鑛業協會の如きを設け其の名により鑛業發展に關する諸般の建議提案をなす事になれば結果は頗る有力にして何等か私利を圖る爲め鑛業家が個々別々に唱導するやう憶測せらるゝ主張と日を同じくして論ずべからず又た朝鮮鑛業協會の名により內地斯業團體と連絡を結ばゞ朝鮮鑛產物の內地供給等に關し得る所少なからざるべし而して採鑛冶金の技術者養成は朝鮮鑛業開發上焦眉の急務に屬す目下內地にて採鑛冶金專門の智識を有する者は各方面共引張り合ひの姿にあり鑛業界の殷盛の今日朝鮮にて該技術者を得難き事情にあるは斯界の發展上遺憾少なからず當局の一考を促したき次第也

▲內地の資金充溢 內地各方面共資金の橫溢景氣の旺盛は非常のものにて激增せる正貨の處分に困じつゝあるもの如く從つて株式界の活況を呈し居れるが此の好景氣は日露戰後の空景氣と異なり根底あり實力あるものに付其の影響は朝鮮にも波及し來り半島の事業界も土地熱の如きは漸次活氣を呈し來らん乎、工業地として偉大の發展を遂げつゝあるは北九州地方なり製鐵所の事業擴張久原の新製鐵所鈴木の亞鉛鑛業其他事業の新企畫擴張枚擧に遑あらず昨年ならずして同地方は其の動力用として石炭年額七百萬噸を要する事となるべしとの觀測ある位にて北九州の天は黑煙に蔽はるゝに至るべし

群山客月經濟

朝鮮銀行群山支店調査

出穀の盛期を迎へたる群山は十月末より米價の趨勢漸く向上の機運に向ひ商狀の活況なると共に金融市況も繁忙を呈しつゝ漸次引締を見せたるが更に十一月中旬以降阪神筋在米の減少による大手筋の買進み頻繁にして注文忽ち輻輳し之が手當米を盛んに買付け行はれたれば米界一般の活躍を始め著しく資金の需要を喚起し當店に於ける銀行券發行高の如き其超過額約百萬圓に上り金融頗る活潑を來せり蓋し移出に對する船腹不足の爲せる影響益々甚大にして買付品が埠頭に堆積するもの多きを加へ當業者は只管積出しを焦慮するの有樣なるも滯貨一方にして殆んど困憊の極に達し之が救濟を當局に迫り善後策を講ずる抔專ら滯米の一掃に努めたるが何分海運界好況の今日運賃益々騰貴し廻船思はしからず到底船繰り不圓滑は免かれざるにあるものゝ如く前途を氣遣ひたれば商取引上亦聊か敏活を缺くの傾きありき然れども時出穀の最盛期に入り而かも米價は堅實なる步調にて順境に經過せるを以て一般財界活氣付き移入商品も概して賣行宜しく特に棉糸布の如き空前の勢にて景氣上順を示し仕入並に決濟資金の需要增大し金融狀態一層繁忙の裡に越月せり(群山)

產業獎勵五年計畫

京畿道にては道內產業の發達をして今一層促進せしめんため大正六年度より向ふ五年間を期し極力產業の獎勵を行ふことゝなり目下各係にて調査中なるが年度始めまでには纏る可く決定せば京畿道產業獎勵五年計畫として實行を見るに至るべしと

會議所豫算と課金

京城商業會議所の大正六年度豫算は來年一月中に編成の上其筋へ認可申請を爲すことゝなり居れるが同豫算は大體に於て本年度の豫算額と大差なきも調査費に於て約五六百圓內外の增加を爲し會議所本來の目的たる商工業の調査を行ひ一般會員の參考資料に供する筈なり尚本年內に於ける課金の徵收成績を聞くに成績頗る良好にて一萬六千餘圓の課金總額に對し二三步位の滯納者あるに過ぎずと

平壤金塊移出激增

稅關扱の十一月中の移出金塊は三十萬千三百圓にして昨年同期の二十五萬六千圓に對比すれば四萬四千百圓の增額なれど前月即ち本年十月の三十二萬四千四百圓より見れば二萬三千百圓の減退なり是れ結氷季に入りたる爲め作業上の支障に因るなるべく而して一月より十一月迄の累計を見れば三百六十二萬千百圓にして昨年同期間の二百八十六萬三千八百九十五圓に對比すれば本年は七十五萬七千二百五圓の激增なりと(平壤)

鐵道椿事奏上

寺內首相は八日午前十一時閣議閉會後參內表御座所に於て拜謁仰付けられ東北鐵道本線列車衝突事件に關する後藤鐵道院總裁の進退伺を執奏し同事件の善後策に就き奏上且つ御下問に奉答し闕下を退出せり(東京特電)

列車衝突と處分

東北線古間木驛に於ける壯丁列車衝突事件に付後藤鐵道院總裁は進退伺ひを提出せり各關係當局は孰れも行政處分を受くる事となるべし(東京電報)

露貨暴落と爲替

露貨暴落し日露間の爲替相場は昂騰せり(東京電報)

平壤粟輸移出旺盛

粟の輸移出は今尙續行しつゝあり移出先は朝鮮全道內地滿洲の各主要地等にして何れも鐵道小荷物便大貨物に託送し居れるが十月中の小荷物便扱は二千六百六十一斤にして更に十一月八日迄の取扱數量は三千斤を算するに至り又大貨物は一回十四噸卽車扱の託送もありて大貨物扱の仕向地は重に南大門東京大阪等にして引續き日々若干の輸移出あれば其終末期迄は尠少ならざる巨額に達するならんと(平壤)

名刺交換會準備

京城の名刺交換會は目下京城府にて夫々準備中なるが會場の點に付て決定せず八日は府尹、事務官等同道の上朝鮮ホテルに出張し會場借用の件を協議したるも未だ決定には至らずと

石塚總裁歸京

東拓總裁石塚英藏氏は二宮秘書役、清水參事及び內地へ旅行中なりし松田調査役を隨へ八日午後九時南大門著列車にて歸京せり停車場には川上理事三井技師外官民有志の出迎ひ盛んなりき

鮮銀總裁著期

新任朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は十日頃入京の豫定なりしも都合上其の著任は十七八日頃となるべしと

警部試驗施行

警務總監部にては八日各道より選拔せられし警部候補者十名に對し口述試驗を行ひたるが更に九日も引續き實課試驗を行ふ由

內地新連絡驛

東海道本線藤澤茅ケ崎間に辻堂驛を奧羽本線大和田船形間に蘆澤停車場を設置し一日より鐵道營業事務を開始する旨鐵道局に通知ありしと

人事消息

▲谷井濟一氏(文學士) 九日仙鄉京の豫定 ▲木村茂一氏(成蹊農學校長) ▲渡邊汀氏(咸興農學校長) ▲大西鬼三雄氏(大邱農學校長) ▲佐藤陽太郎氏(晉州農學校長) 同上

朝鮮補充憲兵

朝鮮各道に配置せらるべき憲兵三百名(八十二名は門司より百九十七名は神戶より二十一名は宇品より孰れも乘船)八日門司解纜の商船宮島丸にて釜山に向へり(門司特電)

辭令

八日左の如く辭令ありたり(東京特電)

任總督府視學官(五等) 京城高等普通學校敎諭兼總督府編輯官 上田駿一郞

任總督府臨時土地調查局監査官 總督府臨時土地調查局書記 高田長豊

敍高等官八等(七等) 釜山公立商業專修學校敎諭 村田長太郞

任總督府警視(八等) 總督府警部 武藤哲

▲光州電燈 …… 指定相場は一等棉十八圓五十錢安 ……

鑛山用 測量製圖器械 時計眼鏡貴金屬品 玉屋商店 東京銀座三丁目 電話京橋(長)三〇〇五 三〇〇六 三〇〇七 振替東京 四四八八

日韓書房 新版報告 三宅克己著 寫眞のうつし方 定價七十五錢 送料八錢 本多日生著 法華經講義 定價一圓八十錢 送料十八錢 岩谷莫哀著 成功活歷 腕一本から 定價五十錢 送料六錢 新渡戶稻造著 自警 定價一圓七十錢 送料十六錢 虛子著 俳諧師 正續合本 定價一圓五十錢 送料十錢 京城本町二丁目 電話一四五 振替口座一五一

ストーブ各種 京城本町一丁目 輸入金物商 佐野彥商店 電話一六三番・振替口座京城一二〇番 地方よりの御注文の節は迅速に御送付申上候

ニほまれ味噌 天下一品 龍醬油 譽醬油 京城太平通二丁目 日本醬油株式會社 出張所 (電話二四五番)

新築移轉 明治町二の卅 (元漢城病院下横通 川崎大正醫院前) 產科婦人科專門 中央婦人病院 電話二三四〇番 手術室病室各等完備 院長 衣笠茂

[illegible]
他物品の取引は狹隘なる南門通に於て行はれた交通上多大の支障ありしのみならず飲食物の販賣に至りては衛[illegible]妨害を齎して[illegible]警察署と協議の上薪割木の市場を府內新倉里及び薪町に設置せんとする

[illegible]

[illegible]び警察署合議の上適當な大同郡古平面(兼ねて[illegible])の原野を指定し畜獸死屍埋葬地より[illegible]に開會すべしと

[illegible]に上り居りたる[illegible]

▲言龍く責[illegible]

[illegible]人ならざるも全部相當の[illegible]

[illegible]木署長は六日松汀里へ出張實地檢分したるが▲海苔海產組合出願[illegible]島長興光陽三郡に於ては今回總督府令に[illegible]て其の目的は海苔の粗製濫造を防止し市價を高め販路を擴張するに在りと▲木浦商女[illegible]打合[illegible]

木浦棉花

▲棉花益々騰る 本年棉花相場は昂騰する一方にて目下大阪ミツドリング相場六十二圓五十錢にて本道の實棉[illegible]

[illegible]頗る狹く惡道路なるより光州郡にては豫て之が改修を計畫中本月中旬より起工本年度內に二間幅道路を完成すべしと

漆塗りの棺

樂浪文化の跡

關野工學博士の談の三

今回發掘し得た樂浪時代の遺物中學術上一大發見とも稱すべきものは漆器類である棺の內外に漆を塗つてあつた事は前にも既に述べた通りであるが單に棺材に漆を塗つて腐朽を防いだばかりでなく此の時代は亦

◆非常に漆工の進步

して居つた事を知り得た古墳の內からは何れも多くの漆器を發見した漆器は机、木匣、盆、衣櫃其他の雜器であるが何も木材の部分腐朽して僅かに漆のみが殘つて居る其れが土地に埋まつて居るのであるから其の採取の困難なる事は一通りの事ではない現に茲に採集して有る机の表面の漆畫の如きも二人掛りで三週間も費して一人は洋刀を以て少し宛削り取り一人はそれを原形通りに木板の上に糊で貼り付けると云ふやり方であつた他の漆器類の蒐集も何れも此の方法を採つた漆器の模樣は唐草花散らし山水人物禽獸等

◆何れも精巧無比さ

稱すべきもので今日の美術家が眞似ても到底描き得ないやうな立派なものである何んで畫いたか今からは判らぬものもあり又畫いたものと彫つたものとあつて彫刻したものには非常に精巧に沈金されて今でも金色燦然として當時の美しさが想見されて餘りあるものである沈金の外に黑漆塗りに朱を刻み入れたものもある又漆色と黑と朱との三種を巧みに取合せて山水を描いたもの又は薄い銅板を塗込んで處々模樣を切拔いた處に鍍金した物など實に巧みで有つて

◆今日は其の製法が

全く傳はつて居らぬ又鍍金の覆輪を取つたものなども實に美しい之等は直に取つて模似する事が能きると思ふ此時代の漆器の進步は實に想像以上であつて其後技術が全く傳はらずして終つたものである此の時代に漆器が有つたと云ふ事は歷史に散見する處であるが斯くの如く精妙なものが有つた事は何人も想像する處でなく寧ろ今回の大發見である漢時代には壯麗を尊ぶ風が有つた爲めに凡ての工藝は非常に進步して居つた單に漆器ばかりでなく多少裝飾を要する日用品には多くの鍍金の金具を用ゐて居つた今回も

◆土城の一古墳を發掘

したる際の如きは鍍金の金具が非常に多く現れ出でたる爲め二尺近くもある穴が金光燦爛として明光に充ち朝鮮人などは深山の黃金を掘り出したと云ふ評判で遠近から見物人が堵を成した位であつた此の時代の文化の程度は非常のものであつて現代の支那よりは遙かに文明であつたと云ふ事を得る之れを以て樂浪時代の文化の程度を窺ひ得ると共に其の本國支那の文明をも亦窺ひ得る便利が有る支那古代文明の研究は支那自身もあまり爲て居らねば日本人も手を付けて居らぬが戰亂前に英、佛、獨、露の學者は頻りに

◆支那の古代文明を

研究して居つた又此の戰亂が終局を告げること再び研究に着手する事であらうと思はれる而しながら歐洲人の支那研究は多く西域地方及び蒙古に止まつて未だ支那本土の研究に指を染めて居られぬが幸ひ此の樂浪時代の古墳に依つて支那本土の古文明を窺ひ得る事が能きる而も此の古墳の數は千もあつて今回の如きは其の內の僅かに十箇所を發掘したばかりであるから將來研究の步を進むるに從つて大同江流域は實に世界で注目する程の支那古文化の研究地となるであらうと思はれる

◆十數日間を無人島に

密漁團は何うして官憲に檢擧されたか

既報の如く慶興郡雄基及び西水羅地方の朝鮮人漁業者十五名は本年十月下旬二隻の漁船に乘じて露領浦鹽附近なる水青島ハレナバイ附近に於て密漁中二十八日露國水陸官吏バービヨリヤシンク(號)の發見する所となり漁船漁具は沒收され乘組員は取調べの爲め浦鹽に引致すべく沒收漁船の一隻に漁具を載せ他の一隻には乘組員を乘せ浦鹽に向け出帆せんとせしに

▲折惡しく風波 起り航行困難なるより同夜は同地沿岸に碇泊せしに翌日も亦引續きての風波に出帆する能はず其翌三十日海上靜穩に歸したれば浦鹽に向け出帆し約二浬を航行せし頃乘組員等は二日間の碇泊中に相談せし事とて露國官吏を亂打して殺死せしめ屍體は海中に投じたる上尙ほ露國官吏が伴ひたる朝鮮人通譯朴金石(二八)を殺害せんと亂打せしも中に朝鮮人なればと止むるものあり之を中止し同人が

▲所持せる露貨 七百三十五留を强奪し同人をば附近の無人島に置去り同所を立ち去りたるが無人島に殘されし朴金石は十數日を經て附近を通り掛りし漁船に救助され辛くも餓死を免れ水青に歸來後露國官吏の遭難を語りたれば之を聞きたる露國官憲は早速汽船に乘じて犯罪漁船を搜索しつゝ十一月十六日國境西水羅に來り憲兵分遣所に犯罪事實を語ると共に犯人の逮捕引渡方を請ひしも素より其要求に應ずべき事柄にあらざれば露國汽船は空しく翌十七日西水羅を去りたるが同憲兵分遣所にては早速犯人の檢察に努めし結果雄基面兩振命(四六)同馬金命(四三)西水羅洞朴徐鳳(三七)振錄律(三)の四名を逮捕し三十日淸津檢事局に送致せり(淸津)

◆貫通した茂山隧道

二箇年に亘つた最大難工事

咸鏡線工事中最難關とせられたる茂山七箇の隧道は去る一日を以て貫通したり大正三年十一月工を起してより滿二箇年七百六十餘日に亘り大隧道工事は

◆第七號隧道 を最終として全部の貫道を見るに至り當初鐵道局に於ては同嶺を一直線に貫通すべき一大隧道の計畫ありし由なるも延長四哩餘に及び之が完成迄には少くも七箇年を要するので經費の如何よりも時日の問題に依りて同計畫は中止され七箇の隧道を掘鑿してエス字形に同嶺を突破することゝなれり就中此の第七號隧道は延長四千三百四十二呎八にして現在朝鮮に於ける隧道最長の位置を占め今日迄朝鮮一の名を丕にせる京釜線慶山淸道間に在る省峴隧道の三千九百四十八呎を超過すること三百九十四呎に及び洵に線の最高地點を同隧道中に收めて

◆海面を拔く 實に千五百一呎岩質は全部强硬無比の花崗岩より成り道坑は勾配北に短く南に長くして所謂片勾配の設計なれば之れが掘鑿作業に於ても大困難を感じ請負者も全勢力を之に傾注したる事とて一日平均六尺以上の成績を擧げ得たり新式鑿岩器の使用は大に其效功を遂ならしめたる功あり同隧道南口には七十五馬力の優良捲揚壓搾器を運轉して一分間三百五十立方碼の空氣を約百ポンドの氣壓を有する迄壓搾して送り二臺の鑿岩器を運轉せり北口よりも同樣小型の壓搾器に依り鑿岩器を使用し外に電力送風器を設置して導坑

◆惡氣の停滯 を驅除せり要するに鑿岩器使用の成績は東洋に前例なき好成績を示し恐らく今後同器使用隧道工事の模範たるに至るべしと工事中最も請負者を困しめたるは昨年九月の洪水にして南口坑門に達する切取り個所を埋淺せられ之が復舊に約一箇月餘を要し夜間坑道の掘鑿を中止せること及び工事著手後歐州戰亂の結果は爆藥騰貴して優良舶來品の輸入全然杜絕して一時は工事の進行を絕望せしめたるも幸に總督府及び鐵道局の盡力に依りて本年四月より砲兵工廠の製品たる櫻印

◆爆彈を使用 するを得たるが價格は平時の二倍餘に及びたり又鑿岩器運轉動力に要せる石炭は撫順炭を使用して每月百二十噸餘を使用し一日の出勤人夫日鮮支總て二百名一呎の工事費大約百五十圓に達せり

◆二兒を負うて投身す

平安南道价川郡北面龍潭里朴基鎬方朴泳鎬の妻洪姓女(三七)は十一月廿三日午前十一時過長女菊水女(七)二女朴水女(二)を背に負ひ龍潭里淸川江の堤防岩石の上より水中に飛び込み自殺を企てたるが折から川向ふに釣魚中の平安北道寧邊郡梧里面松江里金鎭吾が認め直に江を渡りて三名を救助したるが母の洪姓女は息を吹き返したるも背に負ひし二名の子供は已に多量の水を飲みし爲め遂に蘇生せず三名を其筋に引渡せり洪姓女の夫の朴泳鎬は日稼業に從事し居るも朴泳鎬は怠惰者にて妻子を養ふ能はず本年七月頃より親類に當る朴基鎬方に厄介になり居りしに何日しか洪姓女及び小兒が流行病に罹り朴基鎬の家族にも傳染したるより其れやこれやを苦にし死を決したるものならん

◆賊を縛り上ぐ

住所不定の金明俊(三三)は十一月二十五日午後三時頃京畿道廣州郡在村面水踰里金若仙(四七)方に侵入し自分は義兵にして同僚約三百名は附近なる昆池岩の山中に休憩し居り今夜は大擧して附近憲兵所を襲擊の筈なりなど脅迫文句を並べ俄かに有合せたる藁繩にて若仙を縛らんとしたるより同人は抵抗して格鬪を始め約一時間の後賊を組伏せて遂に逮捕したる上昆池岩憲兵派遣所に突き出したり

◆船體を打碎く

乘組員辛くも泳ぎ付く

鎭南浦三和町溜島策郎所有日本形帆船發榮丸(九噸)に同地後浦里鄭時宜が船頭として乘組み十一月二十六日黃海道長淵郡蓴澤面碑灣浦にて大豆三百俵(六百圓)を積み込み鎭南浦に向け航行中同日午後七時頃長淵郡新花面柯西洞の海岸にて風波の爲め船體を岩礁に吹きつけられて難破し乘組員は辛くも泳ぎ上りたり所轄巡查駐在所にては警官が約二十名の人夫を召集して救助に赴き大豆二百五十俵は水中より引揚げたるが船體は五百圓の損害なりと

◆約束手形僞造

廣島縣加茂郡竹原町生れ京城古市町居住の山崎數衞(二九)は南大門通五丁目板倉煙草商店に雇はれ中遊廓通ひを初め本年八月より十月初め迄に取立てたる煙草代金百八十一圓餘を橫領消費したるを手初めに其後前後數回に至り約束手形を僞造し或は活動寫眞割引券、尿料金を橫領する等雇主より百餘圓を捲き上げたる一件は此程京城地方法院にて懲役一年六箇月の判決を受けたり

動物諸君

—シラアマヤ—

山あらし君は遙々內地から朝鮮三界に來てまでも腹を立てゝ居る、尤も君が憤慨した時には背中の針を逆立てゝ宛然大きな栗のいがのやうな態度をとるから『背を立てる』といふの方が適當かも知れない、君はさすがに細君とは喧嘩しないが朝夕馬鹿者五十匁と御飯を貰ふ時の他は時々猜疑を起して背を立てるから困る、君はこのごろの戰術家が敎ふる如く一にも二にも敵に對して攻勢をとることは敢てせぬが一旦持久防禦をとつた以上『フウ!フウ!』といひ『ガチヤ〱ガチヤ〱!』と毛をならして勢猛くあたるべからざるさすがに『山あらし』の勇名を辱かしめぬ勇者である、君が若し大晦日の借金とりに對してもあの態度をとるならばとてもピタ一文もとれ相にないのである

◆談合事件上告

小林長兵衞以下に係る談合事件は第一審二審共に大邱にて判決濟みとなり有罪と決したるを以て被告一同は之れに服せず這般高等法院に上告の手續きを了したり辯護人は鵜澤、花井兩博士を初め其他在鮮辯護士等合計十一名なるが判決迄には猶幾分の日時を要すべしと

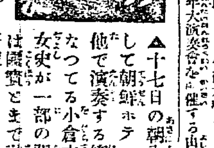
◆教會堂に棄兒

十二月三日午後九時頃平壤府館後里章治兒耶蘇敎會堂內ストーブの側に生後二三月の女兒を棄去りたる者あり同敎會番人吳壹樂が發見し直に警察署に届出で七日に至るまで調査したるも判明せず已むを得ず平壤府景昌里四番地李世斗妻李氏(一八)に預け養育せしめ居れり

◉無門會第四例會 無門會第四例會は九日午後四時より京城商業會議所樓上に開催臨濟宗布敎監督後藤瑞巖老師の提唱あり何人も參聽隨意なりと

◉檢事長送別會 向井檢事長は今回病氣のため內地に歸還する事となりたれば平壤官民有志は十一日午後六時より大同館に於て盛なる送別の宴を開くべく目下準備中なり(平壤)

◉筑前琵琶忘年演奏會 旭水會旭陽會主催と爲り九日午後六時より壽館に於て筑前琵琶忘年大演奏會を催す由



▲十七日の朝入京して朝鮮ホテル其他で演奏する筈になつてる小倉末子女史が一部の間には隨分とまで讚美されてる天才たることは隱れもない事實である▲女史が僅か二十五才にして此の名譽を贏ち得るに至つた徑路にはまた並々ならぬ苦心と女史をしてこれまでに大成せしめた援助者の偉大なる力とが潛んで居る▲女史は神戶の貿易商小倉家の一人娘で幼い時から今にも死ぬかと思はれた程弱かつたのであるが嫂に當る獨逸婦人が自分で責任を以て立派に育て上げて見せると其家庭敎育を一身に引受け▲傍ら音樂にその趣味を向けさせたのが女史の今日ある始めを爲したのでその嫂は女史が獨逸へ留學する時も米國で音樂敎師をしてゐた時も影の形に添ふ如く常に伴うて女史を保護したものである▲女史が獨逸の女王音樂學校に入學して間もない時のこと某の老博士が不圖學校の廊下を通りかゝると幾十人となく洋琴に向つて稽古をしてゐる學生の中から奇しくも聞き慣れない特に一層妙なる調べが聞れる▲老博士は助手を呼んで聞きなれないあの洋琴の調べは誰の奏でるものかと尋ねたけれども助手ではその調べを聞き出すことが出來ない▲そこで博士は敎室を次から次と巡つて女史の傍に立つた時『これだ!』と叫んだ、女史の手をとり、其れからは老博士自から女史のために敎授の勞をとつたといふ▲女史が市俄古で音樂の敎授をしてゐた時は一週四弗といふ市中で最も高い敎授料をとつたけれど米人は悅んで其門に集つたといふ▲女史が京城に來ると聞いて外人側の期待は非常なもので外人樂團のスミス氏初め一同打揃つて女史の演奏を聽くつもりださうな

京日案內

普通三十錢(一回前金) 一番外六十錢(一回前金) 一假名一四回毎に五錢増無料引 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

▲卓上ピアノ◯子供ピアノ◯ピアノリン ▲大正琴◯手風琴◯バイオリン 京城本町二◉セヤマ樂器店 817

▼古本と古樂器の買受は信用絕大なる 本町◉電二五二七◉ツツボヤ書籍店

◎店員入用 十五歲以上十八歲迄 本人來談あれ 京城本町一 織田東洋舘 880

◎店員入用 十五歲以上廿五歲迄 本人來談 京城本町二 松菊屋小間物店 876

◎產婆入用 希望者は本町二丁目 增田紙店へ來談あれ 874

寫眞門生入用 十五歲より十七歲迄 長谷川町 電二七二二 田中寫眞館 868

南大門裏通り藥屋建土地百拾六坪格安にて讓渡したし望み方は北米倉町百六番地森義勇に來談ありたし 847

番外

◉外務社員採用 希望者は履歷書携帶來談之事 京城黃金町一丁目六十番地 國民興產株式會社出張所 870

恩給年金即時立替 京城本町二ノ五三 京城銀行橫へ入 吉田屋 882

石版手引機械製臺 買入希望者は來店あれ 京城旭町二丁目 京城印刷所 865

內職 隱居婦人の手內職として暇所いらずコタツの上にても出來やすき手仕事あり希望者は來店あれ 旭町二丁目 京城印刷所 866

◎京城春川間自動車每日午前八時卅分出發 賃金片道四圓 京城南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 主務 金正淵 859

◉銃砲火藥自轉車 ◎京城◎太田◎公州 瀧川銃砲店 854

恩給年金即時立替 三年迄恩給保險 京城南大門外寄附成町 西鮮支店京義線沙里院 山口屋 立替月利歩二厘五毛 843

銃砲火藥雜貨 京城南大門通三丁目 電話五八三番 藤木商店 856

◉銃砲火藥獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 755

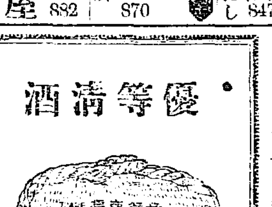
恩給年金即時立替 低利無保證及無手數 短期商品陳列館表門前 ▲京城永樂町一 長期即金 江州屋本店 848

毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣 京城本町三丁目電二〇六五 椎元商行 842

たむし 水虫 錢瘡 治癒良劑 田虫 いんきん 皮膚病も快治す 本舖 名古屋市廣小路通 小林盛大堂

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟) 諸積立金二十四萬百圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八番 振替京城一六三四番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰 支配人 豊田明敬
南大門支店 電話五四四番 七〇二番 振替一〇六二番
仁川支店 電話一五八二番 振替一六〇六番
本町支店 電話一九四番
平澤支店 電話一八六三
東大門出張所

◉內外諸病適應 ◉家庭常備藥 ◉醫師不便の地に在りて最も必要
京城本町三丁目
朝鮮漢藥製劑所
遂送料不要但代金引換は手金入金の事 振替京城四一〇五番
優藥 同發賣八十五錢 三十五日分 定價金二圓 同錢金一圓

優等清酒

京城永樂町二丁目
發賣元
本莊酒店
電話六五四番 振替京城二六〇番

醫術開業

小生儀專修後小兒科內科專門にて久留米市に開業致居候處今回小兒科學會及內科講習の爲め上京中引續き皮膚科研究仕舊友の勸めにより南山町三丁目京城ホテル前に開院仕專ら患者の診療に從事致候間此段謹告仕候也

入院隨意 原 森俊 (改雄)

京城府南山町三丁目京城ホテル前
◎小兒科內科皮膚科
開業御披露の爲
診察無料
原醫院
長電話二六四三番

今回原森俊君京城府南山町三丁目に於て小兒科內科皮膚科開業仕候に付何卒各位の御引立被下度候也
久留米市醫師研究會總代 石田光次
久留米市病院長醫學士

くすりは山岸
洋藥 賣藥 醫療及試驗器械
諸官衙御用達 卸問屋
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天佑堂 藥品部 器械部

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

一六　御進物　『四』の一

同じく番町の内ではあるが、俗に貴族横町と呼ばれて居る一番町の横通りを入つて、所謂貴族屋敷の宏壯雄大な構へばかりが幾ツともなく立ち並んで居るその眞中程、極めて最近に落成を告げたらしい半西洋式の石門いかめしい破風造りの一構へは、這般の歐洲戰爭で驚く計りの盛名を日本國中の新聞紙上に轟かした一人、桑原權一郎の新住宅なのである。

權一郎の素性來歴は、改めて説くまでもない。唯、兜町で仕上げて、紳士界へ乘出してからは、要路の人に手つときを求めて、その筋の御用商人を勤めつゝある内、怎麼にしてかとんく拍子に萬金の利益を獲得して、僅か一二年の間に、今のやうな身分と成り遂したのである。生國は長州、年齢は四十一の前厄、目から鼻へ抜けるやうな機敏な才智を持つて居るが、學問と來ては、手形に自身の名を署するのが精一杯だと云はるゝ位。細君は霞町の左褄上りで名はお袖と呼ぶのである。勿論小供などは、只の一人も有たない。從つて、汪鳴るほど儲けた金は、夫婦が榮耀榮華に費ふより外はないのであるが、權一郎は、決して、そんな安逸な考へを起すやうな男ではないのである。──人間は何でも金を儲ける爲めに生れて來た者である。金を儲け得れないやうな人間は、人間として人間の數に入らない無用の動物である。己は金を儲ける。金を儲ける爲めには、人情とか義理とか糸瓜とか云ふ事は、無論言つて居られるのでない。社會は確かに黄金萬能でなければならないのだ。──斯う云ふのが、即ち徹頭徹尾彼權一郎の考へなのである。だから彼の頭腦は、鐵よりも硬く、氷よりも冷たく出來上つて居る事は、論を俟たない。

『お袖、誰か來たやうぢやないか。』

今方玄關まで客を送つて、その足に鳥渡奥座敷の廊下を見廻つて來た權一郎は、金縁の眼鏡越しに、妻の袖子の化粧室を覗き見ながら訊ねた。

『はア、彼の娘の阿母さんが、鳥渡旦那樣にお目通りが爲たいと申して彼方のお座敷に待とりますんです。』

袖子夫人は、梳きかけた髪の手を息めながら答へた。何樣粹者上りの水際立つた美しさはあるが、何方かと云へば、陰氣の勝つた瞼眶らしい顔付の見られでもない。年齢は主人公よりも十以上若いやうである。

『なに、彼の娘の阿母さんとは誰かね?』

『まあ、豈夫にお忘れになる筈はないでせう。彼の五番町の白富とか被仰る……。』

『はゝア、然うかね。白富の能く轉する婆さんかね。』

權一郎は、成程と腑に落ちたらしい微笑を含みながら、奥座敷の次の次のその又次の八疊の座敷へ入つた。

と、先刻來、兀然として煙草盆を前に譯もなく畏まり奉つて居たお久は、主人の姿を見かくると等しく、公方さまのお成りでも拜するやうな格好に身を平伏し、いやが上にも恐縮し奉つて了つた。

『おう、白富の小母さんだね、能くお入來でした。遠慮には及ばんからお敷きなさい。』

『はい、恐れ入りまして御座います。お忙しい處へ飛んだお邪魔ばかり申上げまして。』

『なに、此の節は別に忙しくもないので、斯うして宅にばかりぶらくして居るんですが、何か急の御用でもお有りかね。』

權一郎は、横柄な中にも、多少は愛嬌らしい調子で、態と鷹揚を裝つて居るのである。

『……はい、別段急な……』と、申す譯でも御座いませんが、旦那さま、細代はその谷原町のお屋敷の方に機嫌好くお勤めを致して居りますで御座いませうか?』

『さう、俺も此の所三四日は……』と、權一郎は、故意とならず八字髭を捻つて、二三分間考へ込んだが、『恐らく機嫌好く勤めとるでせう。花泉の御前も大變柔順しくて好いと被仰つて、稱めてお在だ位ですから……。』

『ほ、ほ、ほ、御前さまのお氣に召しさへすれば、それが何よりと申すもんで御座います。それに就きまして旦那さま、少々お願ひがあつて伺ひましたんで御座いますが……。』と、お久は、そろく膝を乘出す。

南米倉町朝市場通 仁濟病院跡　内科 小兒科 花柳病 外科 入院隨意　上野醫院　電話二九三四番

婦人科 產科　京城壽町四一　二宮醫院　醫學士 二宮亮吉　電話一二〇一番

◎楚山より

楚山は平北の中央にあり支那鮮安縣外薪溝に對し內地人六十三戶約二百人より成る圓滿なる小都邑たり當地分隊長憲兵大尉三雲一氏は今回內地金澤憲兵隊富山分隊長に補せられ將に赴任の途に就かんとするに當り在楚內鮮人有志楚山守備隊長君島大尉、鈴木判事、河本院長、尹郡守、遠藤郵便局長、筒井小學校長、相澤理事、岩波學校組合管理者を始とし四十有一名は三雲大尉を主賓として十一月二十三日積峪料理店に於て送別を意味する懇談會を催し午後一時より餘興として『ピンポン』團扇會、『カルタ』の競技並に在住民寺谷氏夫妻の琴、月琴の合奏及數番の劍舞、薩摩琵琶終りに送別俳句約四十句あり一同席に移るや鈴木判事は立て氏の圓滿なる活動に將來を期待したるに任短きを惜むと述べ三雲氏は感極りて謝辭をも述ぶること能はずと圖解し食卓を共にし終りに俳句發表あり主客歡を盡して夜の更くるを知らず近來稀なる盛會なりき(特信)

三雲八朋送別句

温突

温突や摺り殘りたるわさびの香　鵜東
父去りて温突寒き夜なりけり　鳴手
温突で相撲とる子を叱りけり　蔵川水
温突の烟戸毎や朝まだき　忠山
温突の冷へて酒呼ぶ夕かな　宵生
温突にわくむ滿圓の心地よき　登岐
温突の焚かす酒呼ぶ主かな　田伊
温突に今宵の寒さ知らぬかな　山九知
温突の煙處々鶴村　一過
主去りて温突淋し宵の雨　郷満

温突や故郷の便り聞く嬉し　岩南見
温突の冷ねて讀書の夜寒さよ　二見矢
温突は挨げば煙る逆さ風　添綿
温突の小穴にくさき煙かな　仲村
霜の道君を送る君に名残かな　芒
温突と見捨てゝ君は去りにけり　山志多
冬籠へて我れ温突に獨り笑む　黄見島
酌かわす温突狹き住居かな　津々井
主去りて温突寂し今朝の雪　細野

任期短きを惜みて

温突の暖らざるに君去りぬ　靜奴

寒さ

秋闌けてありなれ河の風寒し　石川
君を送る朝の寒さや身にしみぬ　板馬
君去りてありなれ河の水寒し　臨渠
谷流れ聞くや今宵の月寒し　忠山
馬上より我報氷る寒さかな　香生
軒の雨氷柱となりて背寒し　山九知
朝鮮は話も氷る寒さかな　一過
橋上に君を見送る寒さかな　岩南見
離歌低し風寂なふく寒さかな　山志多
寒月に何とにらむや痩兵士　黄見島
足のべつかゞめつ明す寒き夜や　津々井
富山路と君去る後の寒さかな　石伊
呼ばひ寒いと語る君去りぬ　細野
見送れば君去る歩々の寒さかな　淡湖

留別

任短きも親しき里を去る寒し　八明

新刊紹介

▲朝鮮衛生彙報(十一月號)　十錢平壤通町二八共社
▲極東時報(一の三)　國際公法の無視、瑞西國內の論議、巴里聯合國經濟會議等を收む日佛朝文に翻譯せる週刊雜誌(十八錢東京市京橋區築地明石町三二共社)
▲教育の實際(十二月號)　某問家の執筆に成り時勢に教育上の諸問題を研究せる雜誌にして本號には時局と國民教育の理想、保健術生教材と其教法、兒童保護に關する社會的事業、兩の日の休暇時間に於ける兒童の遊戲、小學校に於ける體育上の實際問題、其他を收む(二十五錢東京市日本橋區本石町三實文館)
▲茶業界(十二月號)　十錢靜岡市追手町二二九の一共發行所
▲婦人週報(二の四九)　四錢五厘東京市牛込區市ケ谷田町二の一七共社
▲宗報(十一月號)　五錢京都市烏丸七條上る共發行所
▲圖書月報(十一月號)　五錢東京市日本橋區本材木町二の一六東京書籍商組合事務所

讀者の領分

▲黄金遊園前の停留所で見ず知らずの警部と洋服の人とがお互ひに讓り合つて居たが人を押し除けても自分が先へ乘る人とは大分人間の段が違うと思つた(凡車掌)▲昨日お白粉の瓶で怪我した小供の事が出て居ましたが入浴者の多い湯屋では一箇月に一人位瓶の破片で怪我をするさうですがそれは瓶を壞した人が知らぬ顔の半兵衛を極め込む爲めに起る事で何故一寸の勞を厭うて番臺に屆けて掃除をして貰はないのでしよう婦人社會の公德心の缺乏を悲しみます(錢湯營總理)▲朝鮮人の女は概して安產するそれは頭へ物を載せて歩く爲めだと云ふ事だが事實だらうか(產婆)▲四五日前本町を俄虚無僧が無茶苦茶な尺八の吹き方をして合力錢を貪つて居たが內地では修業の僧侶でも二人以上でなければ托鉢は出來ぬが當地ではあれで宜しきや(旅の者)▲京城を墳墓の地と定めて再び入京されたハリス博士は南大門驛で多數の出迎人中殊に日本人には『オー、ヨロコビ』と變則な日本語を連發して堅い握手をして居られたが博士の滿腔の喜びは此一語で遺憾なく表現せられて居つた(出迎の一人)

商況

大阪期米(八日)

▲八日後場(気直し)　當限 一七〇〇　中限 一七三五　先限 一八、一〇
高値 一七〇〇　一七三五　一八、一九
安値 一六八〇

…ろも買物多く十錢下落と返したる折柄大阪五圓二十八錢と安移りに賣物現はれ遂に十三圓の大關門を打破り十一圓九十九錢と崩れたるも利食の買出に……たるも忽ち○三錢と跳ね返し十三圓丁度と押し○三錢と散合を告げたり市況は不勢に……弱の觀先大阪の跡安を移して投げの賣出に一面…

▲〽能く賣る　今夜場前店より賣りたる玉數六千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の賣りありたり

▲〽能く買ふ　後場同店より買たる玉數八千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の賣りありたりと

…圓六十錢古米十二圓十錢五十五錢天安玄米十二圓五十錢忠南玄米十二圓より六十五錢……

…十二圓六十五錢……

…先限十三圓十錢十錢〆九錢十錢〆九錢…

出來高　四萬七千七百石

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated.　Price ¥ 1.50.

芳香醇良なる本邦產天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

ミツワ規那鐵葡萄酒

擔任技師 河西嘉一

滋養強壯料

香味色佳良滋養力偉大

健胃補血興奮作用卓絕

(現品縮寫圖)

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、強壯等の諸効驗を擧ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せられ、其の効價の愈々增大することは既に公知の事實に屬すと雖、其の製法不當ならんか、將又其品質不良ならんか、之を服用するも啻に無効なるのみならず、却て不快なる結果を齎らすこと言を俟たざるなり、然るに本品は歐米に於ける諸種の製品並に最新の學說に就て調査研究を重ね、山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、人造著色料を用ひず、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不足、慢性の發熱、下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料たると同時に、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力增進を欲する場合に推奬すべき絕好の家庭必需品なり。

定價 一壜金壹圓五拾錢

ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目　振替東京一七〇番　丸見屋商店　營業部電話浪花三〇〇、長四一八、四九〇、四五〇番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村　釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元 富安京城支店　電話四一〇三九番 振替口座四三九番

神經衰弱特効

ユーキリン

榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス

粉末 廿五瓦入金七拾五錢　錠劑 百錠入金八拾錢

本品ハ帝國大學敎授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ
說明書進呈ス、各地有名藥店ニテ販賣ス

東京室町 三共株式會社

資本金五百萬圓　頭取 安田善三郎

京城本町壹丁目　株式會社 百三十銀行京城支店　電話長五八番・一九四番 振替貯金京城一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

質　京城黄金町二丁目 永樂町(停留所北入)　堀佐營業所(電話六三九番)

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五二番・二三一番　京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)　鐵道會社及社外船と荷客運輸の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成度候

○○○○全羅丸・京畿丸・黄海丸・咸鏡丸　十二月十一日・十六日・廿一日・廿六日　門司より釜山各港寄港雄基間航路　釜山發
○○○鏡城丸・昌平丸・鏡城丸　十二月十一日・十二月十三日　元山より各港寄港雄基行　元山發
○○○第二錦旗丸・忠淸丸・平壤丸　十二月十一日・十二月二十日　城津清津浦潮行復航釜山より門司又は長崎行　元山發
○盈德丸　十二月九日　甘浦九龍浦經由浦項行　釜山發
○○江陵丸・寶陽丸　毎日　長生浦方魚津寄　釜山發 浦項發
○三浦丸　十二月十一日　長箭、巨文、濟州島寄　釜山發
○○濟州丸・統營丸　○○五湖丸・慶濟丸　毎日　各港寄港統營、馬山行　釜山發
○順天丸　三日目毎ニ　各港寄港木浦行　木浦發
○慶興丸　十二月九日　各港寄港濟州島行　木浦發
○慶興丸　十二月十二日　南鮮各港寄港濟州島行　木浦發
○公用丸　十二月　各港寄港平壤行(復航)　木浦發
○宗信丸　十二月八日　海州經由鎭南浦行又は平壤行　仁川發
○江原丸　十二月　芝罘、大連寄港　仁川發
○○麗水丸・晋州丸　十二月十一日・八日　各港經由木浦行　仁川發
○○全州丸・南陽丸　毎日午前　江華島、喬桐島、海州行　仁川發

山口本郵船仁川出帆

○大連行 三河丸　六年一月一日正午出帆
○大連、秦皇島行 相模丸　十二月十二日正午出帆
高砂丸　十二月廿一日正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話 十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○有吉丸　十二月十日後四時出帆
○秀吉丸　十二月十三日後四時出帆
○君が代丸　十二月二十日後四時出帆
○神代丸
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行
第一共同丸　十二月十日入港　十二月十二日正午出帆
朝鮮總督府命令航路　阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目 野口商會(電話一七三番)
元山代理店 南大門(電話二六八○一七)田口回漕部
京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行　立神丸　小倉丸　日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行　日後十時出帆
小倉丸、立神丸　日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行　日後六時出帆
第三宇品丸、第二宇品丸　門司、神戶、大阪行　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天草丸　毎月一日八日廿一日廿六日(十四)午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航路所關航路遠洋航路を除く時は五分引を以て連絡切符發賣致候

○天智丸・安東丸・福州丸　群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　十二月十二日・十六日・十九日　後五時出
×××　信濃川丸・淸州丸・群山丸　木浦、釜山、嚴原、鶏の浦、長崎行　十二月十三日・廿一日　後二時出
×○×　福州丸・薄州丸　群山、釜山、長崎行　十二月十八日・廿七日　後二時出
○×▲　大智丸・木浦丸　釜山、關門、神戶、大阪行　十二月十日　正午出帆
×○×　鎭南浦、大連行　信濃川丸・薄州丸・福州丸　十二月九日・廿六日・十三日・廿二日　後二時出 正午出帆
▲○×　須磨丸　南浦、神戶、大阪行　十二月十四日　正午出帆
○▲○　清津、浦潮行(元山寄港) 城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港　十二月廿五日・十一日　後二時出
安平丸・宮島丸　十二月十一日　後三時出
上海、芝罘、打狗行(大連寄港)
湖北丸・基隆丸　十二月十四日・一月一日　午前六時出・午後四時出

御注意　朝鮮鐵道及び滿洲鐵道各驛との連絡切符を發行致候
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話七〇・五〇・八〇
京城切符發賣所 內鮮運輸會社京城支店

大邱浦項間自動車時間
大邱出張所　電話七番・二一番
大塚農場自動車部

京城日報